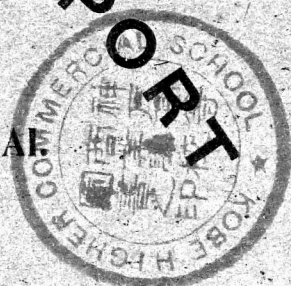


THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI

JULY, 1921 No. 31.



大正七年六月十九日第三種郵便物認可 (毎月一回二十日發行)
大正九年七月二十日發行

大正九年七月

青島實業協會

月報

第三拾壹號

△本號要目▽

△統	△寄	△倫	△法	△附	△協	△金	△主	△海	△貿	△工
	贈	敦		屬	會		要	運		
	書	銀		運	錄		貿	及		
	類	塊		動			易	鐵		
	目	相		部			品			
				彙			概			
計	錄	場	規	報	事	融	況	道	易	業

▽青島實業協會月報 第參拾壹號 目次△

工業

△青島に於ける「セメント」製造業……………一

貿易

△青島貿易近況(六月)……………一〇

△主要輸出入貨物情勢(六月)……………一一

△七月中青島貿易概況……………一二

△民船貿易(六月)……………一二

海運及鐵道

△青島港出入船舶概況(六月)……………一三

△青島内地間運賃下落……………一三

△山鐵輸出貨物激減……………一三

主要貿易品概況 (六月中)

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □白米 □木材 □花生油

□原鹽 □桐材 □牛肉

金融

△銀塊並爲規約相場(七月中)……………一六

協會錄事

△八月定例總會……………一七

△重要物產部會(七月二十一日)……………一八

△同 (七月二十二日)……………一九

△同 (七月二十七日)……………一九

△林田内丸兩氏送別會……………一九

附屬運動部彙報

△對英米煙草野球戰……………二〇

△中村カッブ試合……………二〇

△銀盃寄贈(中村氏)……………二〇

△同 上(畑中氏)……………二〇

法規

△青島取引所規程……………二〇

倫敦銀塊相場

△大正九年七月中表示……………二六

寄贈書類目錄

△大正九年七月中到著の分……………二七

青島實業協會月報第參拾壹號

工業

青島に於ける「セメント」製造業

△緒言 最近日本の「セメント」界は急足の發展を遂げ新設會社の勃興と共に既設會社は何れも事業の擴張を企てざるは無く其生産力は一時に増大し未曾有の盛況を示すに至れり其主たる原因は本邦に於ける建築界の盛況に伴れ需要の激増を來せるに起因せる事勿論なりとするも亦一方海外に於ける本邦製品の販路が年と共に擴張され今や支那、南洋、印度、西伯利亞、南米等有らゆる方面に向つて其驥足を伸し毎年尠なからざる輸出を見るに至りたる等亦其一因なるは疑を容れざる所なりとす、青島は我軍占領以來邦人にして此地に工業を企圖し或は商業的根據を据ゆるもの漸次多きを加へ從來の市街は狹隘を感ずるに至りたるを以て軍當局は此趨勢に鑑み或は工場地の建設に或は市街地の擴張に全力を傾注し旺んに土木を起し建築を奨勵する爲め當地に於ける「セメント」の需要は漸く盛況を呈し大正七年中途に五萬餘樽の輸入を見るに至れり、之より先山東省内に於ける「セメント」原料の石灰石及粘土の優良にして豊富なるに着眼せる一方淄川炭の偉大なる供給力に信賴し企業の計畫を進めつゝありたる田中末雄氏等は此情勢に鑑み大正六年六月遂に工場を滄口にトして山東興業株式會社を創立し「セメント」製造工業に着手するに至れり會社の製品たる「山東洋灰」が市場

に其姿を現はすに至りたるは翌七年七月以降の事にして始業當時に於ける會社の製品は兎角の世評を招き賣行振はず且つ大正八年に入りては銀價の昂騰と淄川炭供給杜絶の厄に會し生産高を示して經營苦心の狀態なりしが其後工業用淄川炭供給の途開かれ加ふるに同工場機械的施設の部分的修築又は増設改善等を行ひ遂に今日易々として年七萬樽以上の製造能力を發揮し、而も其品質に對しては實際使用者間の好評と各方面試験の好成績發表され、漸次製産に従て消化せらるゝの順境を開拓するに至りたるは會社努力の賜にして青島工業界の爲祝福に絶わざる所なりとす之より少しく日本に於ける同工業の梗概を述べ山東洋灰に及ばんとす

△本邦に於ける「セメント」製造業 日本に於ける「セメント」製造業は最近著しき發展を遂げ大正五年に於ては四百四十九萬五千四百八十三樽の生産を爲せしが同六年度に於ては百萬樽を増加して五百五十萬一千八百二十六樽に上り更に大正七年に於ては七百五十萬樽以上に達し昨年度に比し四割の増率を示すに至れり此統計より見るも本邦「セメント」工業が如何に急足の進歩發展を爲せるかを想見するに難からず而して大正八年度に於ては新設會社の事業開始と共に既設會社の擴張により更に一

層の増進を見たるは豫想に難からず今大正元年以降に於ける本邦消費額を比較し激增の跡を示さんに

年 度	消 費 額	年 度	消 費 額
大正元年	三〇一、四四六樽	同 五年	三八四、〇〇九同
同 二年	三二七、三五一同	同 六年	四五一、二〇〇同
同 三年	三四三、八四六同	同 七年	六二〇、〇〇〇同
同 四年	三〇二、二四二同		

次に本邦製品の海外輸出状態を見るに逐年増加の趨勢を辿り大正六年に於ては五十二萬六千三百七十五樽の輸出と三十八萬四千九百二樽の朝鮮移出あり合計九十一萬一千二百七十七樽の輸出額を示すに至れり今其仕向地別輸出數量を示せば左の如し

支 那	三、五三三樽	英領印度	八、七六六同
關 東 州	六、八九五同	蘭領印度	二、四一九同
香 港	一、〇〇〇同	南 米	一、八四〇同
比 律 賓	三、九六九同	南 洋	二、七二七同
海峽殖民地	四、八三三同	其 他	二、八五五同
西伯利亞	五、五五六同	計	五、六三三同

△當港輸入狀況 青島市街の建設改新に對し軍當局の拂ひたる苦心は容易ならざるものあり山林を開き池沼を埋立て道路の開

設せらるゝもの舊獨逸區劃の約二倍に上り土木建築界は未曾有の盛況を極めし爲め工事用セメントの需要遽かに増加し大正七年中途に九千四百四十三噸四の輸入を示すに至り翌八年に於ける建築界の情勢も亦前年に比し大差無き盛況を呈せしも山東興業會社の製品漸く市場に出廻りたるにより前年に比し二千餘噸の減退を示し六千八百二十八噸六の輸入を見たり而して其九十六%迄は日本仕出にして大連より四%上海より僅かに二噸餘の輸入を示せるに過ぎざりしが本年に入りてより四月中突如天津唐山セメント二千餘噸の輸入を見るに至れり小野田セメントは當

港輸入セメント中の向眉にして數量も亦他品に冠絶し大連同工場製品と共に當市場の歡迎するに處たり價格は他品に比すれば常に一樽五十錢見當の高値を唱ふるも其品質優秀なるを以て淺野セメントと共に官廳は特に之を請負工事に指定使用せしめたる結果益其賣行を増加せるに似たり唐山セメントは津浦鐵道運賃の特別割引を受けつゝあるを以て濟南に於ては山東セメントの強敵として鎬を削りつゝあるも青島には絶て其姿を現はす事無かりしが本年四月海運により二千餘噸の入荷を見たるは聊か異數とする所にして當時財界の事情今日の如く甚だしからざりし爲め建築界の盛況を豫想し移入を企てたるものならんも克く當地の山東洋灰に拮抗し相當販路を開拓し得るやは大に疑問となさる

大正八年中輸入「セメント」仕出地別

輸入數量	百分率
三八、七一九樽	九六%
一、四三一同	四%
三〇同	
四〇、一八〇同	

青島港輸入セメント月別表 (單位噸)

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月
三、五三六	七、四四〇	八、九四五	二、六二二	二、八八三	六、九五八	四、七〇六	八、七四	二、八二五	六、九六二
二、五一一	二、〇七二	五、八一	七、〇八	九、六九二	六、六七九	三、〇八	一、〇〇六	四、六六〇	五、四六三
三〇〇	三、七〇三	七、九三	三、七六一	(内三、七七一唐山セメント)					

十一月 五八元
十二月 一六四
計 一六四
八二四
六八六
四三六

△山東興業株式會社 本社は正六年九月大連田中末雄氏一派により創立せられたる資本金百萬圓四分の一拂込の株式組織にして社長田中氏は船舶業者より出て、海運界の好調に乗じ巨利を博し爾來指を諸般の事業經營に染め行く處として可ならざるなき觀を示し殊に營口、大連、芝罘、青島の沿岸航路を開きて大に功あり又た地方支那有力者を招致し自ら資本金の半を出資して日支合辦組織の下に龍口銀行を開きたる等は世人の熟知せる處にして現在大連汽船創設者及田中商事會社長として滿蒙實業界に巍然頭角を現はし日支人間の信望厚く實力手腕共に認められたる新進實業家たり本社は氏が青島に於ける第一期事業として經營開始せられたるものにして當時日本產セメントの海外輸出が逐年増加の盛況を辿り山東建築界の趨勢亦漸く興隆の機運に向へるに鑑み原料豊富にして工賃低廉なる山東に工場を起し之を支那内地に販賣するの頗る有利なるを看取し青島を距る約十七哩の地點山東鐵道沿線滄口驛に卜し海岸一帯約一萬坪を借受け茲にセメント工場を開始するの運に至れり本工業の如き原料並に製品共非常に重量ある貨物の取扱を要する事業に在ては搬入搬出の便否は直に事業の成績に影響する事渺ならず山東興業が地を滄口に選みたるは主として之が爲なりしも沿岸水淺くして船着に便ならず現在諸般の運送は悉く山東鐵道により行はれつゝある狀態に在り同社が機械全部の据付を了し作業を開始せるは翌七年七月の事にして時恰かも大小の工事勃興し青島建築旺盛時期なりしにも拘らず同社の製品は尙試験的製作時期に屬し充分に力を販賣方面に傾注するに至らざりし結果毎月

尠なからざる日本品の輸入を眺めつゝ、抑々しき賣行を示さざりしを以て會社の技師長たる工學士篠田義五郎氏は自家製品の試験成績表を掲げ其品質優良なる事を發表するに及び漸く日支人間の注意を惹きたりしも尙年産額一萬餘樽を消化し得たるに過ぎず篠田氏は日本各地に於ける幾多セメント工業創設の功勞者として夙に令名あり此の形勢不利に對し毫も驚く所無く着々諸般の設備を完全にし品質の改善に腐心し事業發展に努力する所あり翌大正八年に至り官廳も亦其成績優秀なるを認め遂に各官衛工事用として同品を指定するに至りしより爾來青島建築界の需要を喚起し稍賣行の増加を示し特に支那人建築業者間に歡迎せらるゝに至れり而して大正八年春空閑知鸞治氏同社の常務として經營の任に當るや從來の營業方針を一變し大に海外發展の機を捉へて積極的活躍を試み諸般の計畫に對し一大刷新を施したるより事業遽かに進展の機運に向ひ上海、大連、朝鮮等の大消化市場に有力なる基礎を造り今や其販路は青島を始め沿線濟南、上海、大連朝鮮に及び遠く南洋 場に進出し一ヶ年容易に七萬餘樽の製品を消化するの盛況を呈するに至れり同社は需要の盛況に鑑み大正九年以後に於て更に十二萬樽の製造計劃を立て準備は着々進捗中にして益發展伸張の基礎を確固たらしむるに至れり

同社の幹部並に社員氏名左の如し

- | | |
|---------|-------|
| 取締役社長 | 田中末雄 |
| 取締役兼支配人 | 空閑知鸞 |
| 取締役 | 山田三平 |
| 監査役 | 田邊郁太郎 |
| 監査役 | 堀太昭 |

社員營業課長	田住元邦	課	員	樋口茂	
課	員	中津繁雄	課	員	神宮辰太郎
課	員	堀武	同	機械係主任	村上元治
會計課長	茂木恒一	同	係	員	青木兼次郎
課	員	立石正雄	溜川出張所主任	大坪清吾	
課	員	小川令一	員	大村久彦	
工務課	製造部 主任	佐藤安吉			

△山東洋灰の販路並に輸移出狀況 青島建築界の情勢は前記の如く盛況を續け毎年尠なからざる日本製セメントの輸入を呼び居れる有様なれど山東興業會社の製品が始めて當市場に姿を現はすに至りたるは大正七年七月以降の事にして當時始業日淺く其製品は恰く市場に知れ亘らざりし爲め兎角の世評を招き之が販路の開拓に當り同社の拂ひたる苦心は盡し容易ならざるものありしが漸次其品質優良にして輸入品に比し毫も遜色無き事を認めらるゝに及び主として青島附近並に沿線各地方に於ける工

事用として相當需要あり殊に耐伸強度秀れたる爲め「モルタル」瓦製造用としては無比の評あり日支人同業者間に歡迎せらるゝに至れり爾來同社の商況は進展の機運に向ひたるも未だ輸出に全力を傾注するに至らず寧ろ地方販路の開拓に努力する處あり八年六月遂に濟南市場に進出して好評を博し同社製品の四分の一迄は同市場に於て消化せらるゝの盛況を見るに至れり然れど同社は將來自家生産力増加の場合に於ける販路懸念等の爲め竊かに海外發展の機會を覗ひつゝありしが先づ八年十一月南洋方面に同十二月上海方面に其製品を送り海外活躍の第一歩を踏出すに至れり而して最近南滿洲鐵道會社と特約し小野田セメントと共に同社の需要に應ずに至りたるは同社の一大成功として特

記するに足るべし、山東洋灰が上海方面に移出せられたるは昨年十二月以降の事にして同月二百樽翌九年一月八百樽を移出するに至れり同地には既に半官半民の支人株主により經營せらるゝ洋灰工場ありて年十餘萬樽の產出を爲し居れるも地方需要の旺盛なる到底此一小會社の製産を以て満足する能はず銀高を利し旺んに日本製品の輸入を呼びしが其間に介在して山東洋灰は切に販路の開拓に勉め其成績見るべきものあり殊に上海工部局の試験通過以來排日熱旺盛にして本邦製品の排斥あるにも拘らず同社製品は支那内地製なるの故を以て却て歡迎せられ意外の好成績を收むるに至れり幾何もなく銀の暴落に遇ひ本邦輸入品は採算不引合の狀態に陥れるに反し山東洋灰は漸く斯界の信用を得根底ある販路を收拾するに至れり此方面の需要程度は將來同社の營業方針により或は不の盛況を見るやも計り難しと察せらるゝ大連には從來小野田セメント工場あり同社は毎年十萬八千樽宛を滿鐵本社に納入の特約を有せるを以て其製品の殆んど全部を之に充當し地方消費は主として本邦製品に仰ぎつゝあるの狀況にあり然れど事業の擴張と共に滿鐵の需要は益増大し尙多大の不足を感ずるにより此不足額を滿洲に於て新設の運に至れる東洋、滿洲、兩セメント會社に製造納入せしむべき計畫整ひ居たる際財界の不況は遂に兩社に禍して其第一回拂込を了したるにも拘らず解散の悲運に陥りたるを見るや山東興業會社は直に之に替ふるに自家製品の納入を企て滿鐵理事の諒解を得附屬中央試驗所及技術各部に於ける實地試験に於て優秀なる成績を挙げ無事納入契約を締結し近く朝鮮鐵道用として仁川に向け多量のセメントを特約船腹により輸送するの運に至れり同社の契約高は未詳なるも之によりて同社が不斷の消化地を獲得し

製品消化の上に於て非常の強味を感ずるに至りたるは争ふ可からず且つ大連市中に於ては大正コンクリート會社並に大連土木建築會社等の特約を受け最近大口の注文に接し同社は今正に其輸送に忙殺され居れり

濟南に於ける山東洋灰の需要は建築の盛況に従ひ漸時増加し同製品の四分の一は濟南市場に於て消化せらるゝの情況に進み同社の重要市場たりしが昨年來天津唐山セメントの襲來を受け尠なからざる打撃を蒙むるに至れり前陳の如く唐山洋灰は支那官憲の有力者を株主に持ち津浦鐵道とは特別契約ありて破格の運賃割引を受け居れるを以て鐵路遙かに濟南市場に輸送するも尙山東洋灰に比すれば一樽銀十七錢の安値を示し山東洋灰をして價格の競争を斷念せしむるの狀況に陥らしめたり然るに山東洋灰は唐山洋灰に比すれば内容豊富にして一樽約二十斤の差あり此差斤を價格に換算するときは約銀四十錢となり需要者に採りては採算比較的有利なるを以て現在五分五分の賣行を示しつつあり濟南市場に於ける兩セメントの競争は一に鐵道運賃の如何により決せらるべき問題にして現在山東鐵道は山東洋灰に對し三割の運賃割引を爲しつゝあるも一樽の運賃銀八十六錢に當り利益を計算外に置きたる低値を以てしても尙唐山セメントに及ばざる狀態に在り故に之を木材同様五割引に低減し得るに於てに同市場の商況更に一生面を開くに至るべく同社は木材と均しく建築材料なるの故を以て近く五割の運賃割引を當局に請願するに至るべしと傳へらる海州方面の需要は甚だ不振にして時々數百樽の需要ありたるに過ぎざりしも將來懸案なる築港の開始を見るに於ては膨大なる需要を喚起するに至るべし

△山東洋灰工場 セメントの製造加工は全部機械裝置により行

はるゝものにして其作業は極めて簡短なるものなれども原石の粉碎並に「クリンカー」の粉碎等大なる動力を要するものなるを以て同社瀋口工場の如き電力の供給困難なる場所に在りては勢ひスチームエムデンに因るの外なく從て焚料炭並に給水裝置の二件は重要問題となさる現に同工場に於ても焚料炭は淄川の給炭によれるを以て後顧の憂無しと雖ども給水の途充分ならず工場を去ること約五町許の所に穿井し汲水せるも干魃に際しては給水不足に困しめられ時々機械の運轉を中止するの余儀なき狀態なりしが今や白沙河の水源地増設完備と同時に滄口地方には給水の運びに到達し漸く愁眉を開かんとするの狀態に在り今同社工場に設備せられたる機械並に設備の概要を掲げ作業の概略を述べんに

- 一、ランカツシャイボイラ(七尺—三十尺)一基
- 一、水管式ボイラ (使用せず) 二基
- 一、ストーン、クラツシャイ(十一吋—二十吋)二基
- 一、ボール、チューブ、ミル(五呎—十二呎)二基
- 一、窯 十八基
- 一、練土乾燥用大火爐 二棟
- 一、練土及粘土乾燥場 三棟
- 一、風化場

口原石粉碎 工場内の廣場に堆積せられたる原料は厚さ約三寸方尺角位宛に小割せられたるものにして先ストーン、クラツシャイにより一時角位に碎石せらる同機は約四十馬力の壓力を有する鐵齒を以て絶えず石塊を挫碎しつゝあり同機中に投入せられたる原石は見る／＼鐵齒中に其姿を没するや否や忽ち碎石となりて一方より吐出せらる茲に待受けたる職工は鐵匙を以て碎石を掬ひ上げ足下に大音響を響かせつゝ廻轉せるボールチューブミルの受入口に投入す此時約十三%の割合を以て乾燥粘土を

混入すチューブミルは直徑は五呎長十二呎の練鐵製圓筒にして此機中を通過せる碎石は紛末と化して機の末端より吐出さる同機の末端には螺旋狀鐵軸の練り機の裝置あり此の紛末原料は此の練り機中にて汽罐冷却用の水を以て練られ順次練り機の一方より機の廻轉に従ひ押出されつゝあり本機一日の生産能力は實に二百五十樽なりと云ふ

口練土乾燥 乾燥場に運搬せられたる練土は場内床上一面に約二寸位の厚さを以て引延され更に乾燥に便する爲三寸位の間隔を措きて縦横に割目を附せらる乾燥場は間口十四間長十七間の長方形の一棟にして四方に壁及區劃を設けす場内一面を耐火煉瓦床となし場の一方に十八口の大火爐ありて之より床裡に數十條の煙道を布設し火氣を導けり乾燥に要する時間は約五時間なりとす

口窯入れ 窯は俗に之を德利竈と稱し全高約五十呎上部直徑二三呎に過ぎざるも下部に至るに従ひ漸次太く中央部以下に於て方約十五呎位の方狀を爲す其形德利に似たり乾燥せられたる原料は此の中央部以下に收容せらるゝものにして約一尺位宛を一層となし層と層との間には石炭を挿みつゝ交互に積重ねる事一竈約二十五層を普通とせり練土の積込を了したる時は竈口を密閉し下部の火口より點火し焚く事約二晝夜にして止む火入後の竈は之を密閉せる儘放置する事約二晝夜にして開扉し冷却せしむ此焼かれたる練土は錄色を帯びたる結昌狀を爲す之をクリンカーと稱し結昌狀を爲せるクリンカーは其硬度原石に劣らずといふ

口「クリンカー」の粉碎 クリンカーは再び之をクリンカー用の

ストーン、クラッシャー及チューゲミル(原石粉碎用と同一)により粉碎せらる此の場合に於ける作業はセメント製造業者の最も秘密とする技術を以てセメント需要者の希望と用途の如何に依り凝結時間の緩急宜しきに叶ひ調節を行ふものとす斯くして粉碎せられたる緑灰色を帶べる粉末は即ち「セメント」にして粉は最も狀細かきを良品とせり

口風化作用 前記の方法により製出せられたるセメントは更に之を風化工場に送致し風化作用を施さざるべからず風化作用は本加工上最も重要視せらるべきものにして風化完全ならざるに於ては製品の使用に當り龜裂を生じ不みを見る事あり同社の風化工場は本造平家建三棟總坪數五百九十坪にして最も通風好き樣建てられあり場内に搬入せられたるセメントは厚さ約五寸平均位に敷詰められ折々風化に便する爲め木製匙を以て攪伴せらる之れに要する時間は約二十日間に亘り殊に廣大なる工場を要するを以つて本加工上最も苦痛とする所なり同工場に於ては現在の風化場にては尙不足を生ずるにより近々建坪百二十坪總二階のものを増築計畫中なりと

口樽詰 斯くして風化作用を終りたるセメントは一センチメートル平方中九百孔を有する篩を以て粗粉と篩分けられたる上樽詰せらるゝものとす山東洋灰一樽の斤量は三百斤なり而して從來は此樽詰のみを製出せしが最近樽代の暴騰により需要者の便宜を考へ麻袋詰を發賣せるに頗る好評を博し青島及附近並に濟南大連一部方面の需要者は殆んど麻袋入のみを使用するの傾向を生ずるに至れり

口山東洋灰の特長 一時兎角の世評を招きたる山東洋灰も大正七年十一月當時の技師長篠田氏等が銳意研究の結果日本内地製

品に比し毫も遜色無き優良品を製出して其試験成績を發表し滿鐵中央試験所も亦今會社の請求により試験の結果優良なる成績を公表し今や其品質の優良なる事は青島建築界に承認せらるゝに至れり殊に其耐伸度に強於ては日本内地の優良品を凌駕せるは同社の誇りとする所にして山東洋灰の特長たり其原因は有名なる山東石灰と淄川炭がセメント製造原料並に燃料として好適せる爲め期せずして此好成绩を收め得たるものゝ如く其のクリンカーの見事なる緑灰色結晶狀を呈せるより見るも日本内地に於て産出する最上のクリンカーと類似し否より以上の成績を示しつつありといふ今同社製品に對し滿鐵中央試験所に於てポルトランドセメント試験方法書に準據し施行せる試験成績表を示せば左の如し

○山東興業株式會社製品セメント

一、化學的成分(百分率)

不溶解物 〇、三四 化合硅酸 二〇、一四 礬 土 五、〇〇
酸化鐵 三、四〇 灰 六四、三四 苦 土 一、三四
硫 酸 一、五〇 加 里 〇、四四 曹 達 〇、二六
灼熱減量 三、一七

二、粉末の程度 一平方「センチメートル」に付九百孔を有せる篩にて篩上の殘滓重量百分中

殘滓なし

三、凝結時間

始 二時五十分

終 五時四十二分

但し「セメント」重量百分に對し注加せる清水の量は二分にして又本試験中室内の溫度は攝氏十九度半なり

四、膨脹性龜裂試験

沸煮法並に浸水法に於て孰れも異狀なし
五、耐伸強度 一平方「センチメートル」に付「キログラム」數

單純セメント 砂入セメント(セメント一分標準砂)

七日後 四七、九 二五、六

二十八日後 五六、六 三〇、五

(尙最近の公表に係る滿鐵中央試験所の本品試験成績表によれば海水試験は淡水試験より砂入セメントに於て二キロ宛純セメントに於て八キロ宛の耐伸強度を増加す)

セメント原料及燃料炭 本工業を企圖するに當り閑却すべからざるは原料並に製品運搬上の便否にして殊に原料石及粘土の如き其便否如何は直に製品價格の上に影響あるを以て原料の選擇と同時に輸送の如何を研究するは事業經營上最も緊要の事たり山東興業會社が其工場地を滄口に卜したるは畢竟之が爲なりしも由來滄口沿岸一帯は遠淺にして船着悪しく而も干潮時に際しては一哩餘の干潟面を生じ水路の利用不可能なるのみならず最高潮時以外に於ては干潟面の露出遠く到底重量ある物品を運搬する事能はざるにより會社は原料石の採取に當り百方考慮の結果遂に山鐵沿線岙山驛及朱劉店並に湖田附近産を採り鐵路滄口に輸送するの途を講じ現に實行せられつゝあり然れど岙山驛より滄口迄は約八十哩湖田は百七十哩あり如斯遠隔の地方より高價なる鐵道運賃を支拂ひつゝ原料石の輸送を企つるは營業上寧ろ危険とする所なるが幸に昨年六月以來原石の輸送に限り山鐵運賃を五割引に低減せられたるを以て採算引合の姿に在りと雖ども以て將來を安んずべからず粘土は膠洲沿岸地方に産するものを最も良質とし其含有面積頗る擴く殆んど無盡地と稱せらる地方支那人之を請負水路滄口に輸送せらるゝものなるが會社

は近く海面中に突堤を築き以て自家原料並に製品積出しの便に供すべく計劃中なるが如し

岬山附近より產出する原料石は稍淡暗色を帶べる白石にして
 石灰の含有量多く「セメント」原料として最も好適せるを見る
 且其包含面積廣大にして殆んど無盡藏の觀あり會社は品質並に
 運賃の關係上主として岬山産を使用し居れるが滄口工場着價銀
 三十六元以上となり銀高當時に於ては一時採算面白からず勢ひ
 日本品に壓せらるゝの商狀を呈せしが銀の下落と共に漸次順調
 となり昨今多少有利の狀態に推移せり

湖田は山東省中有名なる石灰產地にして同地の石灰石は是亦
 岫山に劣らず依て甚だしき遠距離なるに拘らず使用原料中の約
 三分の一は湖田産を併せ用ゐ居れり

此他紅石崖附近に産するものあるも品質前者に比し劣等なると水運の便惡しき爲採取せず花連山産原石は色相岬山産に類似し品質優良なるを以て會社は將來本石を採取加工すべく研究中なりといふ、次で燃料炭に就て一言せんに山東は既に淄川炭及博山炭の地元として知られ殊に昨年來淄川の出産増加に伴れ同塊炭の市中供給開始せられたるより益燃料に對する不安を一掃せり由來當地に工場を起せる最大理由は石炭の供給狀態及原石の採取狀態如何に在り何れの一方を缺くも當地に工場を起すは無意味となる譯にして燃料炭の供給狀態は最も重要となさる淄川炭はセメント製造燃料として他に其比を見ざる程好適せるものにして無煙無灰の本炭を使用する時はクリンカーは見事なる塊狀を呈し恰かも本邦に於ける最優良品の如く優秀の成績を見る乾燥用及ボイラ用としては主に淄川粉炭を使用し一晝夜の消費量一萬五六千斤に上れるが近頃同炭の品質下向し間々雜物を

含み使用に當り困難することあるも貯炭の豊富なると價格の低廉なるとは一般工業者の非常に利便とする所なり溜川炭の青島大港兩驛渡引相場を示せば

溜川塊炭 銀一四六、五〇 但五分引 (十車以上購入者に限る)

同粉炭、同七四、一〇（同）

口使用支那職工に就て　現在同會社に使役せられつゝある支那職工は百七十名にして之を晝勤夜勤の二班に區別し晝勤は午前六時より午後六時迄夜勤は晝勤者と交代翌日午前六時迄とし各班共各一時間宛の吃飯及休憩時間を與へらる「セメント」製造作業は全部機械の動作によるを以て職工は單に之を補助するに過ぎず而して機械の運轉監視燒竈の加熱程度及原料乾燥等の主要部分には日本人職工を配置しあるを以て支那人職工は機械補助に對する勞力部分を擔任せるに過ぎず其作業は總て簡短なるものなれ共多少熟練を要し始業當時セメント製造に經驗ある支那職工を得る事能わざりしを以て日本内地より約七十名の熟練せる職工を備入れ之等を模範として支那苦力を教養訓練せしめ技の熟するに従ひ漸次日本職工に替ふるに支那職工を以てするの方針を採り現在に在りては殆んど全部支那職工により僅かに七名の日本職工を加へて遺憾なく操業せられつゝあり本工業の如き日本内地の事情を見るに使役職工中間々無賴の徒を交へ之が監督及取締上不便尠なからざるも支那人職工中には之等の幻影だも認め能はざるのみならず臂力強大體質強健にして長時間の激務に對し毫も倦怠の色なく從て病氣缺勤率低く且つ監督者に對するの態度は至極柔順にして克く命令に服從し炎天の下にも嬉々として作業に従事しつゝある等支那職工通有の特色なりと

す而して其作業能率も亦機械の動作に迫はれ能動しつゝある事
毫も日本人に比し遜色ある事なし現在同工場に於て使役せらる
職工は全部附近村落の各自の家庭より通勤しつゝあるものに
して其年齢は十八歳より三十五歳迄とし二十二三歳の壯年職
工最も多きを占む支那職工を使役するに當り其主眼とする處は
工賃の低廉なるに在る事論を俟たず經營者は之を企業の最大要
素とせるが本工場に於ける職工給料は最高銀一元より最低銀二
十五錢に至り平均四十一錢の低率をせり是れ同社經營の任に當
れる空閑常務を始め幹部中に能く支那人操縦法を理解せる者多
く爲めに附近村落との連絡を取り且つ主従の如き美風を以て常
に支那職工を愛撫指導の宜しきを得るの賜ものなるべし

△青島に於ける「セメント」製造業の將來 前述の如く本邦並に
支那南洋方面に於ける「セメント」の需要は近來著しく激増し
將來亦益々増進の機運に向ひつゝあるは推考に難からず而して
山東に於ける原料及燃料炭の豊富なる事亦前述の如しとせば容
易に前途を卜し得べしとするも天津には唐山セメントあり對岸
大連には小野田セメント工場ありて交互の競争を惹起し間に不
利なる商狀を誘致するなきを保し難し故に先青島を中心とする
需給狀態を研究し交通の便否運賃の差額等を考查し以て需給の
大勢より斷するに於ては青島に於ける同工業の將來を卜して誤
なきを得ん然りと雖も銀價の高低は全部銀仕入の原料を使用
する當地工場に採りては常に大なる影響あり昨年未來銀價の暴
騰時代に在りては金建なる本邦製品は非常に有利なる狀態を現
出し山東洋灰製造工場の所在地なる青島に於てすら尙本邦製品
は遙かに有利の商狀を占めし事は別紙相場表の示す如くにして
當時山東洋灰が賣行良好ならざりしは故なきに非ざるなり山東

に於けるセメントの需要は昨今財界の不況により一時的終熄を
餘儀なくせられたりと雖も遠うからず從前の盛況を恢復せら
るべきは明かにして益建築界の盛況と共に需要の増加を見るに
至るべしとするも從來の輸入及販賣狀況より推考し青島及附近
工事用として年五萬樽の需要を算するを當れりとす故に同社從
來の生産年七萬樽の消化に就て考ふる青島沿線及濟南市場に於
て五萬樽を消化し得るものとすれば殘二萬樽は之を上海大連の
兩市場に移出し消化せしむるは誠に易々たるものなれども茲に
特記せざる可からざるは天津に於ける唐山セメントの出現に在
りとす同社は主として英國人の出資による英支合辦組織にして
最新式回轉竈を据付け一ヶ年約四十萬樽の製造能力を有し何れ
の地方に向つてか製品消化の途を講せんとし支那各市場に向つ
て旺んに他品と競争賣込に従事しつゝあり先第一に其矢面に立
ちて之と競争の避く可からざる地位に在るは當地の山東興業會
社なりとす唐山セメント株主中には支那官界に於ける有力者を
含み居れるを以て同社の營業に對する有らゆる便宜を附與せら
れ殊に津浦鐵道は破格の運賃割引を爲して同社製品の輸送に便
じつゝあるを以て各市場に於て他品と競争廉賣の餘地を生じ現
に濟南市場に於ても山東洋灰との間に旺んなる競争を惹起し同
社の販路を浸蝕せられたるの實情に在り而して本年四月中突如
山東洋灰の地元たる青島市場に向つて一萬餘樽の移入を見るに
至り漸次山東洋灰の勢力範圍に喰入りて露骨なる競争的態度を
現はし來れる觀あり當地の山東興業が將して如何なる態度を以
て之を迎へんとするか或は之に對して如何なる商策を探らんと
するかは大に斯界の注意を惹きつゝあると共に青島に於けるセ
メント工業の前途に對する浮沈の分岐點にして特に注目されつ

あり上海及大連に於ける事情は既に述べたるが如く長江筋には支那人經營のセメント工場あり大連には小野田工場ありと雖ども其製産能力各年十餘萬樽に過ぎずして他品輸入に俟つ外到底此膨大なる地方需要を満す能はざるを以て此兩方面に於ける山東洋灰は益有利の商狀を齎しつゝあるより見れば畢竟將來の問題は濟南及青島市場に於ける唐山セメントとの競争如何に在りと云はざる可からず、山東興業會社は創業日尙淺くして諸般の準備に忙がりかりし爲め力を輸出に傾注するに至りたるは昨八年末以來の事にして將來如何の程度迄輸出の發展を期し得べきが未知數に屬するも爾來同社の活躍目醒ましきものあり曩に上海、南洋方面に向つし進出の緒を開き今亦南滿洲鐵道株式會社と特約し確固たる販路を獲得し同社の基礎を泰山の安きに置きたる等其事業は年々堅實なる發展を遂げ今回の如き財界の不況時に際しても些の動搖を見せざりしは社運の興隆を語るものにして邦人工業界の爲め將又青島に於けるセメント製造業の爲聊か意を強ふするに足るべく同時に當方面の製造工業に對しては對外關係等に徴するも今後一層官民協力益々發達の途を講ぜざるべからざるは勿論なりとす

貿易

青島貿易近況(六月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量見るに其陸揚(輸入)は三萬二千三百六十三噸三船積八萬二千九百八十二噸三を示し之を前月に比するに輸入に於て五千四十九噸五を減せるも輸出に在りて

は四千七百噸八の増加を示せり

陸揚貨物 五月中 六月中 六月迄累計
船積貨物 六、二八五 八、九八三 五、四〇八
更に之を昨年同月分と比較するに輸入貨に於て八千三十噸四輸出貨に於て一萬九千七百十一噸九を増加し當港貿易の發展を示せり

陸揚貨物 船積貨物 計	六月中	昨年六月中	比較
	三、六三三 八、九八三 一、五三四六	二、三三九 六、二七四 七、八一二	〇、八〇四 〇、九七九 〇、七三三

次に本月中に於ける輸出入貨物の仕出仕向地別を見るに八幡に鐵礦一萬六千七百五十噸德山に淄川粉炭六千四百七十噸を積出せるを別とし神戸に八千七百卅四噸七大阪に二千百十九噸九を積出したるが獨り上海は九千五百二十四噸九の積出しを見たるのみならず五千四百八十七噸二の輸入を見漸次上海對青島貿易の盛況を示すに至れり之を昨年四月分と比較するに左の如し

本年中輸出輸入 昨年中輸出輸入

日本内地

大坂 神戸 門司 横濱 德山 若松 八幡 其他 朝鮮	本年中輸出輸入		昨年中輸出輸入	
	輸出	輸入	輸出	輸入
大坂	二、一九九	一、九〇二	二、〇一〇	二、八六〇
神戸	八、七四七	一、四九三	一〇、一〇〇	三、八〇七
門司	二、〇四一	一、九三三	四、七二一	二、五三三
横濱	一、〇四一	二、四三三	一〇、一九七	五、七四
德山	六、四七〇	八、七四〇	八、五〇〇	二、五七四
若松	二、一〇〇	三、四〇	二、七〇〇	一、五七〇
八幡	一、六七五	一	七、四六〇	一
其他	三、九六三	六、七〇二	七、一九〇	六、六〇三
朝鮮				

仁川	四九〇〇	九三六	三五七	一九六六
釜山	一四九〇〇	—	一九〇〇〇	—
臺灣	—	—	—	—
基隆	一〇三	八八八	—	—
打狗	—	〇一	—	—
支那	—	—	—	—
大連	四九三・五	九九八六	六二四三六	九六二二
上海	九五二四九	五四七二	六九八五三	五四七九
芝罘	—	一五五	九八二	八八
天津	九四六	七四三	一七四七	二〇二
其他	二二〇三・一	九六七九	四三〇二	三〇〇三・四
外國	—	—	—	—
香港	六四三〇	六二二	二〇四四	一五七八五
浦鹽	二八九	〇五	一〇〇〇	—
マニラ	三七九	—	二二八	—
其他	—	九〇二二	三〇〇〇	二一六七四
合計	八八六二二	三三六三三	八五〇三一	三三四五九五

主要輸出入貨物情勢 (六月)

本月中輸出入貨物の情勢を見るに昨年同月に比し著しき増加を示せるは輸出品中の鹽、鶏卵、石炭、鐵礦等にして輸入品に在りては單に木材の一萬八千餘噸支那紙の八百九十九噸を數ふるに過ぎず花生實及花生油は歐米市況不味の爲殆んど積出しを見ず麥稈眞田も亦產地高に脅かされて萎縮し加ふるに銀價の暴落と財界の不況とは深酷なる打撃を貿易上に齎らし輸入各品は何れも多少減退の跡を示さざるは無く商況全く不振を極めたり

△輸出品

品目	五月中	六月中	昨年六月中	昨年と本年との比較
花生實	六、五四七	二、九七五	六、一五二	△三、六六七

△輸入品

牛	五八二二	三〇六八	二三四一	〇	八二七
鶏卵	六三二二	七九七	一四七四	〇	六三三
麥製	九五九	五七三	一八八七	△	二二一四
鹽	六七七五	三七六	六四四五	△	四一七九
葉煙	一四四三二	二六六三五	二〇、九〇〇	〇	八六七二五
牛草	四二七三	九六三	二、四四九	〇	一、四八八九
牛皮	一〇七六	四三〇	三六三	〇	六七
花生油	四八七五五	四九八〇	八六五九	△	三六二七九
豆油	一二三	—	三、四四五	△	三、四四二五
淄川炭	二〇、四三六	九、八六九	八五〇〇	〇	一、六六九
博山炭	二〇、〇〇四	五、二一八	三八八六	〇	一、九三三
桐材	六三〇七	一四一九	八三三	△	六九一三
麥稈眞田	四〇〇	五三五	三、四八二	△	二九五七
豆粕	三〇九	〇四	二、三四七	△	二、三四三
鐵礦	一七六六〇	一六、七五〇	七、四六〇	〇	九、三二四
米	二四〇六	一〇四九	二六七	〇	七八二
麥粉	九五三九	六六三	五二九	△	四四六七
白砂糖	三四八九	七七一	八六六三	△	二九二
赤砂糖	二〇〇〇	八〇八	三七三	△	二九六四
卷煙	八九八四	四三八七	五六一	△	二七四
石油	四〇六七四	九九〇	二、二二四	△	二、〇九三
綿糸	二、一八九	一、四七三	一、四八七	△	一四
綿布	七五〇、四	四七四	七九八	〇	二五二四
熨斗	二二三	一六二	四三七	△	三九九五
麻袋	四四〇五	六五	三七三	△	二七三二
洋物雜貨	六四八	二〇八七	三九二	△	三〇四
支那紙	一、五二五	八九九〇	七〇八	〇	一三八三
日本炭	一、三〇二	四七七一	二、七三〇	△	二、四四五〇
セメント	一、〇三〇	九四四五	八七九	〇	七八六
鐵	一、〇四五	八〇二	一、四九九	△	二八六八

木材(板共)	六七五九	一八三九九	八八六二	〇 九三六八
機寸材料	九七七	二五八	一〇五六	△ 八六八
石油空罐	二二九	二二五	三〇五九	△ 一八三四
箱 材	四〇七	三四九	一七六七	△ 一四二七

七月中青島貿易概況

財界不況の影響は益著しく輸出入貨物の上に現はれ來りたる事別表に示せる如くにして之を前年同月分と比較するに輸入貨物に於て一萬噸輸出貨物に於て二萬噸の減退を見るに至れり本月は昨年同月に比し石炭一萬噸鐵礦約五千噸の輸出増加ありたるにも拘らず尙且輸出入貨物の上に斯の如き激減を現はすに至れるは前記事情の外夏枯時期に入りたるも其一因にして當業者は今後數ヶ月間の成績に付憂慮しつゝありといふ

△船積貨物

品名	前年七月	本年七月	△は減
生 牛	二二二	八一九	△ 六〇七
落 花	二、八五四	三六三	△ 五七二
小 麥	二、五六五	八〇〇	△ 一、七六五
牛 肉	九五	四四〇	△ 三四五
麥 酒	九四九	四〇六	△ 五四三
鹽	一五、三二五	一、八九〇	△ 二、四三五
葉 煙	二、三七九	五三五	△ 一、八四四
花 生	四、〇六七	一、三八八	△ 二、六七八
豆 油	二、九四六	二八	△ 二、九一八
牛 脂	一三三	三三	△ 一〇〇
棉 花	一六五	一一	△ 一五四
石 炭	一四、四九五	二、三八八	△ 九、三七二
コ ー	一	一三五	△ 一三五
桐 材	七六七	一四六	△ 六二二

△陸揚貨物

品名	計	其 他	計
麥 稈	九二一	七一九	△ 二〇二
豆 粕	六六六	—	△ 六六六
鐵 礦	八、六〇〇	一三、二五〇	△ 四、六五〇
其 他	六、一五一	五七五四	△ 三九七
合 計	六三、二七〇	六三、四八三	△ 二二三
米	五二五	二四五	二七九
海 產	一六	三八	二三
砂 糖	八一〇	三三四	△ 四七六
卷 莢	一、三一四	一九八	△ 一、〇一五
石 油	—	一二二	一二二
燐 寸	一四一	六一三	四七二
綿 糸	一、三八四	一、五一三	一二九
綿 布	七七八	六六七	一一一
麻 袋	三八九	二三六	一五三
洋 物	一、二五二	一〇四	△ 一、一四七
紙 額	七七五	九〇八	一三四
石 炭	二、四二〇	九六〇	△ 一、四六六
セ メ ン ト	三八一	二八四	△ 九七
木 材	三、〇五五	六、二二二	△ 三、一五六
其 他	一一、九九〇	九、一三二	△ 二、八五八
合 計	二四、三三三	二一、六六六	△ 二、六六七

民 船 貿 易 (六 月)

本月中の民船貿易を見るに高粱、玉蜀黍、小麥等の食料品を始めとし花生仁、同油、鹽乾魚、魚鮮蛋等相當移入の盛況を示しつゝあるも移出に至りては豆油六千九百五十七擔石炭千六百三十擔を除けば他は殆んど數ふるに足らずして漸く夏枯閑散期に入れるを證せり

△移入品

(單位擔)

△移入品

竹	稈	九、三四六	鮮	蛋	一〇八、五〇〇	豆	油	六、九五七
豆	粕	一四、八六一	鹽	乾魚	七、六二〇	各種	蔗	一〇〇
高粱	一三、三七六	花生仁	一七、〇九九	石	灰	一、六三〇		
玉蜀黍	一二、六〇八	花生油	一六、四八九	花生油	一五五			
小麥	一九、六二五	鍋			三六二			

海運及鐵道

(六月)

青島港出入船舶

本月中の入港船舶(汽船)は百二隻此登簿噸數八萬八千八十噸出港百一隻八萬八千九百七十五噸にして入港卸荷三萬二千三百六十三噸三出港積荷八萬二千九百八十二噸三を示せり更に之を一月以降の累計に徴するに入港七百二十一隻七十三萬九千五百一噸出港七百八隻七十三萬六千九百五十三噸卸荷二十一萬一千六十九噸五積荷五十一萬四千九百二十八噸九に達せり今之を昨年同月分と比較するに左の如し

本年六月 中

昨年六月 中

入	港	一〇二隻	八八、〇八二噸	一二三隻	一〇〇、二八三噸
出	港	一〇一	八八、九七五	一二一	九七、五九〇
卸	荷	三三、三六三、三		三三、四五九、五	
積	荷	八二、九八二、三		八五、〇七三、一	

更に本月中の入港船舶仕出地別を示せば日本三十九隻仁川七隻釜山一隻大連十四隻上海二十隻芝罘五隻天津一隻香港浦鹽マニラ各一隻其他十二隻にして出港仕向地別は日本四十九隻仁川三隻打狗一隻大連十七隻上海十八隻芝罘天津海州香港浦鹽マニラ各一隻其他七隻なりとす

青島内地間運賃下落

貿易の杜絶と爲替關係不味等にて殆んど活氣なき船舶界は繫船を免ぐる手段として互に競争的荷漁りを爲せる結果益運賃の低落を促進せしむるに至り現在青島神戸間小麥は僅に二十七八錢を唱へ生牛一頭三十五六圓のもの最近二十七八圓に下押せるが今青島大阪間臨時船運賃を示せば左記の如し

小麥	百斤	〇、二七	豆	百斤	〇、一七
麸	同	〇、三〇	生牛	一頭	二七、〇〇
鹽	一噸	二、六〇			

山鐵輸送貨物激減(六月)

六月中の山東鐵道全線に於ける輸送貨物は一車扱以上の總噸數六萬七千九百三十七噸及び獸類二千四百八十七頭なるが之を前年度同月の九萬九千九百七十三噸に比較すれば實に三萬二千三十六噸の激減を示し七年度同月に比するも尙三千二百八十八噸の減少を見たり今五十噸以上の輸送貨物に於て前年度との比を舉ぐれば左の如し

品名	本年度	前年度	△は増
石炭	三九、七四九	六二、四一一	△二二、六六二
コークス	一、二二三	二、〇二〇	△七八七
石灰	一、二一九	七九二	△四二七
煉瓦	七九	一五七	△七八
セメント	六一三	三七七	△二六六
硝子製品	七九	一〇九	△三〇
桐材	八〇六	九二五	△一〇二
木材	八二三	一、三二八	△五〇五
竹及割竹	六七	四四	△二二

石	石	鐵板	鐵	古	大	高	小	米	穀	豆	落	麥	陶	支	麻	綿	綿	繭	繭	石	落	豆	牛	油	油	肥	麥	安	鹽	砂
材	同	同	一								花	磁									花生				料	稈				
製	製	製	鍋	鐵	豆	梁	麥		類	類	生	粉	器	紙	糸	布	油	油	油	油	油	油	油	類	類	種	田	平	糖	
白																														
六五	一〇六	一八三	一九二	一四三	三、二八七	一、二四二	九七	三四一	五五四	一四八	七一七	一六七	六〇八	三〇九	八一	六六四	九四一	一二八	三一九	四五九	一、七九一	四二二	四	二二	一、五八五	二二五	三四	二二〇	三三〇	二七八
四四	三八九	三八〇	一九七	二一四	六、一〇六	三九六	六、四八九	二四五	一四九	五九	一、三七六	七三	四八三	四六〇	一〇八	七九三	二七七	三五一	五九	九〇四	三、〇五二	二、八七九	一七二	一〇七	三一四	四六	一二〇	九九	三九〇	九五三
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二一	二八三	一九七	五	七一	二、八一九	八四六	六、三九二	九六	四〇五	八九	六五九	九四	一二五	一五一	二七	一二九	六六四	二二三	二六〇	四四五	一、二六一	二、四五七	一六八	八五	一、二七一	一六九	八六	一三一	六〇	六七五

牛	馬	驢	羊	豚	其	絨	麻	銅	同	燐	羊	雜	木	簪	魚	獸	豚	茶	葉	煙	曹	藥	染	鷄	食
		及																				品	塗	料	料
		馬			他		布	貨	料	寸	毛	貨	準		類	骨	毛			煙	草	達	材	卵	品

主要貿易品概況

◎綿糸布

△綿絲 阪地受渡問題に屢々紛紜起り三品も常に之に伴ふて小浮動を續け來れるが現物は爲替安の關係上支那各地との相場も出合姿となり相當の荷捌を見せ中旬頃よりは當地にも十六手二十手の太番物弗々入荷ありたるが時恰も夏枯閑散の期に在りたるを以て更に渉々しき商談を見ず市況沈靜裡に經過せり

綿糸 扇面(十六手)

十日 二十日 三十日

福助(二十手)	一七〇	一六五	一六二
日鳥(六十手)	一七五	一七〇	一六五
水月(十六手)	一七〇	一六九	一六三
銀月(十六手)	一六〇	一五五	一五五
	一六八	一六〇	一六〇

△綿布 月初頃僅かに上海粗布の小口手合ありたる外殆んど商談無く頗る閑散の商狀を呈せり

綿布 九龍粗布

十日 二十日 三十日

水月同	六、五〇	六、四〇	六、三〇
丹鳳同	六、四〇	六、三〇	六、三〇
菊天竺	五、三〇	五、二〇	五、一〇
	三、〇〇	二、九五	二、八五

◎砂 糖

產地玖馬に於ける原糖高に伴れ瓜哇も漸次高値唱となりたるに引かされ日糖は強氣一方にして殆んど手合出來ず當地滯貨約千五百俵に上りしも中旬より下旬にかけ原糖氣配漸次軟調を示し來りし爲め日本の仕手筋に於ても受渡不能等の問題現はれ氣配總崩れとなり未だ市場の立直りを見ず製造家は非常の堆貨を抱きつゝも安値手放さず一齊高値唱への爲支那方面輸出杜絶の有様に在り當地市場とは約十圓位の値開きを示し全然手合せ出來ざれども眼前中秋節を控へ居れる事とて買氣出で來る場合は

多少強氣配を見るならんと期待きれつゝあり月末四溫庫渡銀二十元二十錢より五十錢見當を唱へつゝ波瀾裡に閱月せり

◎燐 寸

前月末當地製造家が協定の上五十三元の高値を發表するや需要筋は何れも歩を轉じて日本大連方面の投賣物に向つて買進み大連渡銀四十三元五十錢より四十七元見當の安値物約千五百噸の輸入を見同時に濟南市場には天津製品、青島市場には芝罘製品の流込を見爲に當地製造家は一大打撃を蒙むるに至れり相場は月初當地製品五十三元輸入物二十八兩五匁を唱へしも協定相場崩れと共に全月を通じて下押一方にして月末遂に地物四十二元輸入物二十四兩五匁と暴落し尙目先の軟細を現せりされど月央頃に於ける青島堆貨は地物三千噸輸入物千噸計四千噸に上りしが輸入安値物に對しては多少荷動きあり堆貨の漸減を示しつゝあるを以て八月に入らば輸入燐寸は大底消費者の手に渡る見込にして相場も產地品薄と共に聊か強調を示し來りたれば今後安値物輸入の見込立たず勢當地製品に向つて買進み來るならんと觀測せらる

◎白 米

上海米は產地暴騰と濟南品薄の影響を受け前月末上一袋二十一元と暴騰せるも二十元以上となりては鮮米との値開き近接し競争不可能なるのみならず夏期に於ける同米は極上品を除くの外は多少の臭氣を帶び其品質鮮米に比し格段の相異なるを以て値巾の近接に従ひ漸次鮮米の需要を喚起するは當然にして現に先頃滿洲米約二十袋の輸入を呼びたるが同米と上海米との値巾は約五十錢位迄接近し居れるを以て賣行頗る良好なるが如し然

△銀塊●
龍動市に於ては引續き大陸鑄銀貨の供給ありたるも

差したる需要なく相場月始五十二片に始まり中旬迄殆んど釘付不變なりしも月央後は連日印度「バザー」筋の買注文ありて相場強硬五十六片四分の一に越月せり紐育市場に於ける外國産銀塊は月初九十一仙漸騰して月末九十四仙を唱ふるに至れるも市況概ね閑散龍動市場の刺激を受けて上下するに過ぎざりき

△爲替 前月來閑散の後を受けて月始日本向正金建相場賣百三十七圓買百四十四圓に始まりしが輸出入貿易の不振に伴れ爲替市況も益々沈衰の極に達し容易に展開せず上海市況亦均しく閑散を呈せる爲人氣沮喪せしも九月頃再び上海市場の硬化と共に漸次引締りを見せ正金は賣百三十九圓買百四十四圓と發表せるが動亂案じにて支那側乗出さず邦商側も物産界不況の爲氣腐れ勝にして市場活氣無く相場は殆んど釘付狀態を示せり越て十七日に至り突如正金二圓方の引下を發表せるより氣配益軟調を呈し來り二十二日銀塊高の入電に刺戟せられて珍らしくも活氣付き多少先物取極等現はれしにも拘らず再び銀相場不變の入電に出鼻を挫かれて頓挫せしが市況は相當輸入小口爲替の出廻りたると漸次大連高上海急轉強調等の報を入れて聊か強調を呈するに至れり茲に於て正金も前途波瀾案じ等にて二十七日賣買鞘を五圓より七圓に開かせたるが爾來デリ高の歩調を辿りつゝ月末賣百四十六圓買百五十三圓と昂騰之を本月中の高値として月を終れり

△金融 一般財界の不況は容易に恢復せられず殊に内地に本店を有する當地の各支店は本店の打撃に伴隨して窮境に陥れるは當然にして銀行は引續き貸出を警戒し金融依然緩和せられざるも東拓は從來の貸出方針を變更して専ら小口に重きを置き一般均需の主義を採れるは財界の不況其極に達せる當地の現狀に對

しては確かに有力なる救済策たりしも其範圍狹少なるの感あり低利資金問題の如き一時其聲のみ徒らに高くして未だ實現の運に至らざるより考ふるに當地財界恢復の前途尙遼遠なるの感なき能わす

協會錄事

八月定例總會

八月分定例總會は十日午後七時協會會議室に於て開會せしか出席會員左の如し(順序不定)

東和	公司	支店	日本	綿花	會社
原田	汽船	會社	安部	洋行	
江商	會社	支店	伊藤	洋行	
三井	物產	會社	鈴木	商店	出張所
濱口	商會	會社	三菱	公司	
大連	汽船	會社	南村	洋行	
東省	實業	會社	峯村	洋行	
日本	郵船	會社	東洋	鹽業	會社
岩城	商會	會社	山東	興業	會社
青島	製粉	會社	久原	商事	會社
青島	鹽業	會社	大星	公司	支店
内外	綿會	支店	大日本	麥酒	會社
青島	糸廠		山東	葉煙草	會社
山東	起業	會社	田中	商事	會社
大阪	商船	會社			

以上二十九名例により晚餐後議事を開く

第一 會頭問題

右は近澤副會頭より前回飯塚氏會頭辭任事情の件に付協會より三井物產取締役宛飯塚氏留任方照會したる結果本店より會頭後任決定迄留任差支なき旨回答に接したるは協會の爲め多幸となすべしと報告するや滿場拍手を以て飯塚氏の留任を迎ふ即ち飯塚氏起て

不肖先般社命により會頭を辭するの止むなきものありし處協會員各位の御懇情は遂に本店迄煩はされ茲に再び此の榮職を汚すに至りたるが之は勿論後任決定迄なれば夫れまでは何分宜敷御後援を乞ふ云々

との挨拶あり、之にて近澤副會頭議長席を飯塚會頭に譲り

第二 日華實業協會に關する件

に付議長より該問題に關する過般來の顛末を述べ尙當地よりの入會者は法人代表者に在りて日華協信公司、山東運輸株式會社個人に在りて三宅駿二、松崎翠の兩君なることを報告すると同時に該協會と當協會との關係其他不詳の點に就ては迫て當方より照會の上御報告すべしと述べ

第三 支那產麥海外輸出解禁方請願の件

本件に就ては前月二十九日附重要物產部の名を以て民政長官及森總領事宛請願書を提出し置きたれば其の内何分の回答に接すべしとの報告あり

第四 七月中退會者の件

七月中退會されたる分は

○南滿洲鐵道會社青島出張所

代表者 内 九 勇 君

○茂木合名會社青島出張所

代表者 永 井 貢 君

○中外綿業株式會社青島出張所

代表者 前 谷 庫 太 郎 君

の三名にして結局現在會員は五十四名なる旨報告あり

第五 綿花糸布部理事部長異動の件

綿花糸布部長林田理事は今回大連に榮轉され辭任の申出ありたるを以て同部に於ては理事の補欠選舉を行ひたる結果安部洋行の副島高市君理事に當選次て部長に互選されたる旨報告あり

第六 ローカルホリデーに關する件

本件は前回よりの問題なるが協議の結果休日を一定するは種々なる點に於て困難なれば時機到來迄現狀のまゝ各位の任意とすることに決定せり

第七 青島の土地に關する研究

本件は調査部に附託され同部に在て研究することゝなれり之れにて議事を終り午後九時散會せり
因に當夜日華實業協會規則を配附せり

重要物產部會

七月二十一日午後四時當協會内に於て開會、出席部員左の如し(順序不定)

濱口	中村	安部	東和	峰村
商事會社	組支店	洋行	公司支店	村洋行
三菱公司	吉澤洋行	三井物產會社支店	伊藤忠商事會社	湯淺洋行

大倉商會社 內外貿易株式會社
青島製粉會社 久原商事會社
泰利商會 長瀬洋行

理事峰村正三氏議長席に着き左記事項を協議後午後七時散會せり

○協議事項

- 一、山東產小麥海外輸出解禁に關する件
一、懸案中の重要物產商取引解合精算決濟方法に關する件

重要物產部會

七月二十二日午後一時前日に引續き開會、出席部員左の如し(順序不定)

鈴木商店 峯村洋行
湯淺洋行 東和公司
伊藤洋行 山田出張所
安部洋行 三井物產會社支店
中村組支店 吉澤洋行
濱口商事會社 三菱公司
大倉商事會社 內外貿易會社出張所
青島製粉會社 久原商事會社
泰利商會 長瀬洋行

理事峯村正三氏議長席に著き前日よりの議題たる今期重要物產取引交互計算に依る金錢授受精算解決方に關し協議し整理委員として議長指名左記四名を挙げ午後三時散會せり

三井物產會社 澄川友敬君
鈴木商店 瀨戸口又君

內外貿易會社 河上律一君
青島製粉會社 山口眞三君

重要物產部會

七月廿七日午後一時協會内に開會、出席部員左の如し
出席部員(順序不定)

鈴木商店 峯村洋行
湯淺洋行 東和公司
伊藤洋行 山田出張所
安部洋行 三井物產會社
中村組支店 吉澤洋行
濱口商事會社 三菱公司
茂木公司 大倉商事會社
內外貿易會社 青島製粉會社
久原商事會社 泰利商會
長瀬洋行

以上十九名、峯村理事議長席に就き左記協議後午後四時散會せり

- 一、朝鮮銀行よりの金融に關する件
一、讃井大村兩氏宛謝電の件
一、支那產麥及び麥粉海外輸出解禁に關する件

林田、内丸兩氏送別會

當協會員日本棉花株式會社青島支店代表者林田勇氏及び南滿洲鐵道株式會社埠頭事務所青島出張所代表者内丸勇氏兩君の送別會は七月二十四日午後七時三浦屋に於て開會出席者左の如し

(順序不定)

△賓客

林田 勇君 內丸 勇君

△主人側

龍口銀行支店 東和公司支店

日華協信公司 原田汽船會社

安部洋行 朝鮮銀行支店

江商會社支店 三井物產支店

橫濱正金支店 鈴木商司

中村組支店 三菱公司

大連汽船出張所 東省實業會社

峯村洋行 日本郵船會社

湯淺洋行 東洋鹽業會社

山東運輸會社 神戶棧橋會社

大倉商會社 青島製粉會社

泰利商會 東洋殖殖會社

青島銀行 山田出張所

大星公行 內外綿會社支店

青島絲廠 山東葉煙草會社

大日本紡績會社 大阪商船出張所

大連製氷會社 岩城商會

西郷一司君 高木鐵太郎君

片山亥六君 白木伊三郎君

田中秀太郎君 阿部銑二君

乾錄之助君

一同席定るや飯塚重五郎氏起て兩氏の爲め送別の辭を述べ林田

勇氏之に對して答辭あり盛會裡に午後十時散會せり

附屬運動部彙報

●對英米煙草野球戰 七月四日午後二時より第二小學校々庭に於て開催十六對三十六の大スコアを以て實業軍大勝せり

●第十一回ウキシンナーカップ試合 七月十八日午後三時より協會テニスコートに於て開催せらる結果次の如し

優勝 ●石黒(青新)二等市川(三井)三等鶴田(湯淺)上田(滿鐵)中村カップ試合 七月二十五日午後二時より協會テニスコートに於て舉行せらる參加者約二十名其結果左の如し

優勝 ●上田(滿鐵)二等石黒(青新)三等西郷(泰和)惠藤(湯淺)銀盃寄贈 今回カルカツタ正金銀行支店に榮轉せられたる中村爲作氏より銀盃の寄贈を受けたるにより之を中村カップと命名せり

●銀盃寄贈 今回北米テキサス市日本綿花支店に榮轉せられたる畑中友次より「ウキークデーカップ」の寄贈ありたり

法 規

布令第四十二號

青島取引所規程左ノ通定ム

大正九年七月二十日

青島守備軍司令官 由比 光衛

青島取引所規程

第一條 取引所ノ取引人ヲ分チテ物產取引人、錢鈔取引人及有

價證券取引人トス

第二條 取引所ニ於テハ取引人ニ限り賣買取引ヲ爲スコトヲ得

取引人ハ其ノ市場代理人ヲ以テスルニ非サレハ取引所ノ市場ニ於テ賣買取引ノ代理ヲ爲サシムルコトヲ得ス

所長ハ各取引人ノ市場代理人ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第三條 取引人タラムトスル者ハ願書ニ取引人ノ種別ヲ記シ履歴書ヲ添ヘ所長ニ願出テ免許ヲ受クヘシ但シ法人ニ在リテハ願書ニ其ノ定款及財産目錄ヲ添附スヘシ

第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ取引人ト爲ルコトヲ得ス

一 取引所ニ於テ賣買取引スル物件ノ取引又ハ製造ヲ目的トスル營業所ヲ青島ニ有セサル者

二 婦女又ハ未成年者

三 本令ニ依リ刑罰ヲ受ケタル後三年ヲ經過セサル者

四 第六十五條ニ規定スル取引擔保會社ノ役員

五 資産信用ノ不確實ナル者

第五條 取引人前條第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ

所長ハ不正ノ手段ニ依リ取引人タルノ免許ヲ受ケタル者又ハ前條第一號若ハ第五號ニ該當スル者ニシテ免許ヲ受ケタル者アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第六條 取引人ハ別ニ定ムル所ニ依リ免許料及入場料ヲ納付スヘシ

第七條 取引人ハ別ニ定ムル所ニ依リ身元保證金及賣買證據金ヲ取引所ニ差入ルヘシ

取引擔保會社ヲ許可シタル場合ニ於テハ取引人ハ其ノ會社ノ定ムル所ニ依リ身元保證金及賣買證據金ヲ同會社ニ差入ルヘシ

シ

取引擔保會社ハ身元保證金ノ差入アリタルトキハ其ノ旨ヲ所長ニ届出ツヘシ

第八條 取引人ハ免許料及入場料ヲ納付シ身元保證金ヲ差入レタル後ニ非サレハ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 取引人ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハス賣買取引ニ關シ一切ノ責任ヲ負フヘシ

第十條 取引人市場代理人ヲ置カムトスルトキハ所長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

市場代理人ノ代理權カ消滅シタルトキハ取引人ハ其ノ旨ヲ所長ニ届出ツヘシ

第十一條 取引人ハ他ノ取引人又ハ其ノ市場代理人ヲ以テ自己ノ市場代理人ト爲スコトヲ得ス

第十二條 取引人ハ賣買取引ニ關シ委託者ヨリ手数料ヲ收受スルコトヲ得

取引人ハ前項ノ手数料ノ率ヲ定メ所長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十三條 取引人ハ賣買取引ニ關スル帳簿ヲ備フヘシ

第十四條 取引人廢業シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ所長ニ届出ツヘシ

第十五條 取引人ハ廢業後ト雖其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結了及監督ノ目的ノ範圍内ニ於テハ取引結了後二週間ヲ經過スル迄仍廢業セサルモノト看做ス

取引人死亡シ又ハ其ノ免許ヲ取消サレ若ハ效力ヲ失ヒタル場合ニ於テハ其ノ取引所ニ於ケル取引結了ニ至ル迄亦前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於テ取引人ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ所長ノ定ムル所ニ從ヒ他人ヲシテ其ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條 取引人及市場代理人ハ所長ヨリ交付シタル入場章ヲ携帶スルニ非サレハ市場ニ立入ルコトヲ得ス

入場章ヲ他人ニ貸付シ又ハ讓渡シタルトキハ之ヲ無効トシ其ノ入場章ヲ褫奪ス

入場章ハ三圓ヲ納付シテ其ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

第十七條 所長ハ取引人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一 所長ノ指定シタル期間内ニ免許料又ハ入場料ヲ納付セサルトキ

二 指定ノ期間内ニ身元保證金ヲ差入レサルトキ

三 正當ノ事由ナクシテ一年以上引續キ賣買取引ニ從事セサルトキ

第十八條 所長ハ取引人又ハ其ノ市場代理人ノ行爲カ本令ニ違反シ取引擔保會社ノ業務規程ニ違背シ又ハ取引所ノ秩序ヲ紊シ若ハ信用ヲ害スト認ムルトキハ其ノ入場ヲ差止メ營業ノ停止ヲ命シ免許ヲ取消シ又ハ市場代理人ノ解任ヲ命スルコトヲ得

第十九條 物產取引人、錢鈔取引人及有價證券取引人ハ各別ニ取引人組合ヲ設置スヘシ

取引人取引人組合ヲ設置セムトスルトキハ組合規約ヲ定メ所長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第二十條 取引人組合ハ組合員ニ關スル事項ヲ處理シ且所長ノ諮問ニ應シテ意見ヲ開申スルモノトス

第二十一條 取引所ニ於ケル賣買取引ハ現物取引及先物取引トス

ス

現物取引ハ相對賣買ノ方法ニ依リ先物取引ハ競賣買又ハ相對賣買ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

第二十二條 轉賣買戻ハ競賣買ノ方法ニ依ル先物取引ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 所長ハ左記各號ノ場合ニ於テハ市場ノ立會ノ全部若ハ一部ヲ停止シ賣買數量ヲ制限シ又ハ取引人ノ賣買取引ヲ差止メ若ハ入場ヲ制限スルコトヲ得

一 相場ノ昂低不穩當ナルノ虞アリト認ムルトキ

二 取引人ニシテ不穩當ナル賣買取引ヲ爲シ其ノ他故意ニ市場ヲ紊ス行爲ヲ爲シ又ハ爲サムトスル者アリト認メタルトキ

三 賣買證據金ノ提供ニ支障アリト認ムルトキ

四 前各號ノ外公益上必要アリト認ムルトキ

第二十四條 公定相場ハ各物件毎ニ當日ノ約定成立ノ値段ノ平均ヲ以テ之ヲ決定シ市場ニ公示スヘシ但シ先物取引ニ在リテハ各受渡期限毎ニ、現物取引ニ在リテハ各受渡日毎ニ之ヲ區別スヘシ

第二十五條 所長ハ取引人又ハ委託者ヨリ賣買取引ニ關シ證明ノ申請アリタルトキハ無償ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ得

第二十六條 所長ハ取引所ニ於テ爲シタル賣買取引ニ關シ其ノ當事者間ニ起リタル紛議ニ付雙方合意ノ上仲裁判定ノ申請アリタルトキハ仲裁判定ヲ行フ

前項ノ仲裁判定ニ對シテハ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十七條 現物取引ノ物件ノ種類ハ有殼落花生、落花生米、落花生粗油、落花生精油及豆油トス

第二十八條 現物取引ハ現物又ハ見本ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二十九條 現物取引ヲ爲シタルトキハ當事者雙方ヨリ即日書面ヲ以テ取引物件ノ種類、證券アルモノハ其ノ番號、數量、價格及受渡期日ヲ所長ニ届出ツヘシ

第三十條 現物取引ハ前條ノ届出ニ依リ取引所ノ帳簿ニ登錄シタル時ニ於テ成立ス

第三十一條 現物取引ノ受渡期間ハ賣買取引成立ノ日ヨリ十日以内トス

前項ノ期間ハ賣買當事者ノ合意ニ依リ所長ノ認可ヲ經テ契約成立ノ日ヨリ三十日ヲ超エサル期間之ヲ延長スルコトヲ得但シ買方ノ都合ニ依リ受渡ヲ延期シタル場合ニ於テハ延期期間内ノ保管料ハ買方ノ負擔トス

第三十二條 賣買當事者ノ合意ニ依リ現物取引ヲ解約シタルトキハ當事者雙方ヨリ其ノ旨ヲ所長ニ届出ツヘシ

第三十三條 賣買當事者雙方ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ受渡期間内ニ受渡ヲ爲スコト能ハサルトキハ當事者雙方ヨリ其ノ旨ヲ所長ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

第三十四條 現物取引ノ受渡ハ受渡物件ヲ代表スル證券ヲ以テ之ヲ爲ス但シ證券ナキ場合ニ於テハ現物ヲ交付スルモノトス

第三十五條 賣方カ前條ノ證券ヲ買方ニ交付セサル以前ニ於テ其ノ物件カ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ賣方ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テ其ノ滅失又ハ毀損カ賣方ノ責ニ歸ヘスカラサル事由ニ因リテ生シタルトキハ賣方ハ其ノ賣買取引ヲ解除スルコトヲ得但シ買方ニ於テ賣買價格ニテ引渡シヲ要求シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 賣方又ハ買方カ受渡期間内ニ受渡ヲ爲ササルトキハ違約者ハ被違約者ニ左ノ違約金ヲ交付スヘシ

一 賣方違約ノ場合ニ於テハ受渡ヲ爲ササル數量ノ賣買價額ノ百分ノ五ニ相當スル金額並賣買價格ヲ受渡期間満了ノ日ノ次ノ取引立會日ニ於ケル現物取引ノ同種同等ノ物件ノ公定相場ニ對比シ其ノ公定相場カ賣買價格ヨリ高キトキハ其ノ差額ヲ受渡ヲ爲ササル數量ニ乗シタル金額

二 買方違約ノ場合ニ於テハ受渡ヲ爲ササル數量ノ賣買價額ノ百分ノ五ニ相當スル金額並賣買價格ヲ受渡期間満了ノ日ノ次ノ取引立會日ニ於ケル現物取引ノ同種同等ノ物件ノ公定相場ニ對比シ其ノ公定相場カ賣買價格ヨリ低キトキハ其ノ差額ヲ受渡ヲ爲ササル數量ニ乗シタル金額

前項各號ノ公定相場ナキトキハ所長ノ定ムル所ニ依ル

第三十七條 現物取引ニ關シテハ前十條ニ規定スルモノノ外從前ノ慣習ニ依リ、慣習ナキモノハ所長ノ定ムル所ニ依ル

第三十八條 先物取引ノ物件ノ種類ハ競賣買ノ方法ニ依ルモノハ落花生米トシ相對賣買ノ方法ニ依ルモノハ落花生粗油、落花生精油及豆油トス

第三十九條 先物取引ノ物件ノ賣買單位及呼値ハ左ノ通トス

物 件	賣 買 單 位	呼 值 (銀)
落 花 生 米	一車(二百四十擔)	一擔ノ價格
落 花 生 粗 油	一車(百十擔)	一擔ノ價格
落 花 生 精 油	百兩(五千六百五十斤)和百斤ノ價格	
豆 油	一車(百十擔)	一擔ノ價格

第四十條 先物取引ハ競賣買ノ方法ニ依ルモノハ標準物件ニ依リ、相對賣買ノ方法ニ依ルモノハ見本品又ハ賣買當事者雙方

ノ定ムル物件ニ依リ之ヲ行フ

標準物件ニ依リ取引シタル場合ニ於テハ格付表ニ依リ他ノ同種ノ物件ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第四十一條 標準物件及格付表ハ取引人組合ノ意見ヲ徵シ毎年一回所長之ヲ定ム但シ所長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ隨時之ヲ變更スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テ所長ハ必要アリト認ムルトキハ現ニ取組中ノ期限ノ分ニ對シテモ之ヲ適用スルコトヲ得

第四十二條 先物取引ノ契約期限ハ三箇月以内トシ其ノ受渡期日ハ左ノ通トス

一 競賣買ノ方法ニ依ルモノ 毎月十五日

二 相對賣買ノ方法ニ依ルモノ 毎月十日、二十五日

受渡期日カ休日ニ該當スルトキハ之ヲ繰下ク

第四十三條 先物取引ハ期限、物件ノ種類、數量、價格、賣買當事者雙方ノ氏名又ハ商號ヲ取引所ノ帳簿ニ登錄シタル時ニ於テ成立ス

所長ニ於テ賣買取引ヲ不穩當ト認メタルトキハ之ヲ帳簿ニ登錄セサルコトヲ得

第四十四條 賣買當事者双方ヨリ前條ノ取引立會終了後一時間以内ニ帳簿ノ訂正ヲ申請シタルトキハ所長ニ於テ必要ト認メタル場合ニ限り之ヲ許可スルコトヲ得

第四十五條 競賣買ノ方法ニ依ル先物取引ニシテ同期限、同種類ノ物件ノ賣買ヲ兩建ト爲ス者ハ其ノ取引立會終了後一時間以内ニ期限物件ノ種類數量及價格ヲ所長ニ届出ツヘシ

第四十六條 競賣買ノ方法ニ依ル先物取引ヲ爲シタル者ハ取引成立ト同時ニ取引擔保會社ノ定ムル所ニ從ヒ擔保契約ヲ締結

シタルモノト看做ス

第四十七條 競賣買ノ方法ニ依ル先物取引ノ受渡ハ受渡期日ニ取引擔保會社ノ定ムル所ニ依リ賣方ハ受渡物件ヲ代表スル證券ヲ、買方ハ代金ヲ提供シテ之ヲ行フ

相對賣買ノ方法ニ依ル先物取引ノ受渡及清算ハ別ニ所長ノ定ムル所ニ依ル

第四十八條 競賣買ノ方法ニ依リ取引シタル受渡物件ハ取引所之ヲ檢查シ計量ス

前項ノ檢查及計量ハ取引擔保會社ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十九條 競賣買ノ方法ニ依ル先物取引ノ物件ノ合格、不合格及格差ノ決定標準品及格付表ニ依リ品質ヲ檢查シテ之ヲ爲ス

第五十條 合格品ハ左ノ三種トス

- 一 標準品ト品質同等ト認ムルモノ及其ノ品質ニ優劣アルモ標準品ニ對シ格差ヲ附スルヲ要セスト認ムルモノ
- 二 標準品ヨリ品質優等ナルモ格付表ノ範圍内又ハ其ノ以上ニ在リト認ムルモノ
- 三 標準品ヨリ品質劣等ナルモ格付表ノ範圍内ニ在リト認ムルモノ

第五十一條 品質ノ檢查ヲ了シタル合格品ハ計量ヲ行ヒ其ノ總數量ヲ決定ス

第五十二條 檢查及計量ノ決定ニ關シテハ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第五十三條 檢查及計量ノ料金ハ所長ノ定ムル所ニ依リ賣方ノ負擔トス

第五十四條 検査又ハ計量ニ因リテ損害ヲ生スルコトアルモ取引所又ハ取引擔保會社ハ其ノ責ニ任セス

第五十五條 検査及計量ニ關シテハ前七條ノ外所長ノ定ムル所ニ依ル

第五十六條 賣方カ第四十七條ノ證券ヲ提供シタル後受渡物件ノ検査又ハ計量ヲ終了セサル以前ニ於テ其ノ物件カ買方ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失シタルトキ又ハ毀損シタル爲不合格ト爲リタルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ賣方ノ負擔トス

前項ノ場合ニ於テ其ノ滅失又ハ毀損カ賣方ノ責ニ歸スヘカラル事由ニ因リテ生シタルトキハ賣方ハ受渡物件ノ検査若ハ計量ヲ中止シ又ハ終了シタル旨ノ通知ヲ受ケタル翌日迄ニ其ノ滅失又ハ毀損シタル物件ノ賣買單位毎ニ之カ履行ヲ拒ムコトヲ得

第五十七條 相對賣買ノ方法ニ依ル先物取引ノ解約ニ關シテハ第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五十八條 先物取引ニ付取引人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ違約シタルモノトス

一、賣買證據金其ノ他ノ差入金ヲ取引擔保會社ニ差入レサルトキ

二、受渡ニ關スル規定ニ違背シタルトキ

第五十九條 競賣買ノ方法ニ依リ物件又ハ期限ノ異ナル先物取引ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ一ニ付違約シタルトキハ殘餘ノ取引ニ付テモ違約シタルモノト看做ス

第六十條 相對賣買ノ方法ニ依ル先物取引ヲ爲シタル者違約シタルトキハ第三十六條ノ規定ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ル公

定相場ハ受渡期日前五日間ノ公定相場ヲ平均シタルモノトス第六十一條 左ノ場合ニ於テハ取引擔保會社又ハ賣買當事者ハ之ヲ所長ニ届出ツヘシ

一、賣買證據金、手数料其ノ他差入金ヲ提供セサル者アルトキ

二、受渡ノ規定ニ違背シ違約者ヲ生シタルトキ

三、受渡不能ニ歸シタルトキ

四、受渡ヲ結了シタルトキ

五、取引擔保會社ノ規定ニ違背シタル者アルトキ

第六十二條 錢鈔ノ現物取引ノ物件、賣買方法及受渡ニ關シテハ從前ノ慣習ニ依ルノ外所長ノ定ムル所ニ依ル

第六十三條 有價證券ノ賣買取引ハ現物取引ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ取引ノ物件、賣買方法及受渡ニ關シテハ所長ノ定ムル所ニ依ル

第六十四條 第二十八條乃至第三十三條及第三十六條ノ規定ハ錢鈔及有價證券ノ現物取引ニ之ヲ準用ス

第六十五條 競賣買ノ方法ニ依リ成立シタル先物取引ノ履行ノ擔保並其ノ取引ノ清算及受渡ニ關スル業務ハ取引擔保會社ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十六條 取引擔保會社ハ業務規程ヲ定メ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

業務規程ハ取引人ノ身元保證金、賣買證據金、手数料、計算受渡及違約處分其ノ他必要ノ事項ヲ規定スヘシ

第六十七條 取引擔保會社ノ定款ノ變更又ハ其ノ役員ノ選任若ハ改任並利益ノ配當ハ軍司令官ノ認可ヲ受クヘシ

第六十八條 取引擔保會社ハ第二十三條第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ先物取引ノ立會ノ全部若ハ一部ヲ停止シ賣買數量ヲ制限シ又ハ取引人ノ賣買取引ノ差止ヲ所長ニ申請スルコトヲ得

第六十九條 取引擔保會社ハ取引人ノ差入レタル身元保證金及賣買證據金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第七十條 軍司令官ハ取引擔保會社又ハ其ノ役員ノ行爲カ本令若ハ營業許可ノ條件ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ取引擔保會社又ハ其ノ役員ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

一 取引擔保會社ノ營業ノ停止又ハ禁止

二 役員ノ停職又ハ解職

第七十一條 軍司令官ハ必要ト認ムルトキハ官吏又ハ吏員ヲシテ取引擔保會社又ハ取引人ノ業務、帳簿、財産其ノ他一切ノ物件ノ検査ヲ又ハ監督ニ必要ナル處分ヲ爲サシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ取引擔保會社又ハ取引人ハ物件ヲ提供シ質問ニ應答スヘシ

第七十二條 所長ハ左ノ事項ヲ市場ニ公示スヘシ

一 取引人ノ免許、廢業、死亡並免許ノ取消及失効

二 取引人ノ營業ノ停止及其ノ解除

三 市場代理人ノ許可及代理權ノ消滅

四 取引人及市場代理人ノ入場停止並其ノ解除

五 市場ノ開閉時間及休止

六 立會ノ停止及其ノ解除

七 前記各號ノ外必要ト認ムル事項

第七十三條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ監禁又ハ

千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 取引所ノ先物取引ト同一又ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ又ハ其ノ市場ニ於テ取引ヲ爲シタル者

二 取引所ニ依ラスシテ取引所ニ於テ賣買取引スル物件ニ付差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者

三 取引所ニ於ケル相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虛偽ノ風説ヲ流布シ偽計ヲ用キ又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者

四 取引所ニ於テ賣買取引スル物件ノ取引ニ從事セサル者ヲ濫ニ勸誘シテ先物取引ノ委託ヲ受クルコトヲ常業トスル者

五 取引人ニシテ委託者ニ對シ其ノ委託ヲ受ケタル取引ニ關シ虛偽ノ通知ヲ爲シタル者

六 取引人ニシテ委託ヲ受ケタル先物取引ニ付取引所ニ於テ賣付買付又ハ受渡ヲ爲サスシテ之ヲ爲シタルト同一又ハ類似ノ計算ヲ以テ委託者ニ對シ其ノ決濟ヲ爲シタル者

第七十四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ監禁又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 取引所ニ於ケル相場ヲ偽リテ公示シタル者

二 公示又ハ頒布ノ目的ヲ以テ虛偽ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作成シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者

附則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム

倫敦銀塊相場

(大正九年七月)

一日 五十二片
二日 同

十二日 五十二片八分五
十三日 五十三片八分一

廿三日 同
廿四日

三	日	五十一片八分一	十四日	五十三片八分五	廿五日	日曜
四	日	日曜	十五日	五十三片四分三	廿六日	一
五	日	五十二片	十六日	五十三片八分五	廿七日	五十六片八分五
六	日	五十二片	十七日	五十二片七分一	廿八日	五十五片二分一
七	日	五十二片二分一	十八日	日曜	廿九日	一
八	日	五十四片	十九日	五十二片	三十日	一
九	日	五十四片	二十日	同	卅一日	五十六片四分一
十	日	五十二片四分一	廿一日	五十二片四分三		
十一	日	五十二片四分一	廿二日	五十五片四分一		

寄贈書類

(大正九年七月到著の分)

○月	報	第一二一號	仁川商業會議所
○月	報	第六卷第五號	神戶商業會議所
○月	報	第一八九號	宇都宮商業會議所
○月	報	第九六號	下關商業會議所
○月	報	第一〇九號	福井商業會議所
○月	報	第二卷第七號	上海商業會議所
○月	報	第二八四號	橫濱商業會議所
○月	報	大正八年十月中	上海港貿易統計
○月	報	第一五六號	名古屋商業會議所
○月	報	大正九年五月分	鐵道部埠頭事務所
○月	報	第一一二三號	富山商業會議所
○月	報	第四七號	熊本商業會議所
○月	報	第三三四號	大日本紡績聯合會
○週	報	自第一八八號	天津商業會議所
○週	報	自第一九一號	上海日本商業會議所
○週	報	自第四三三號	日本棉花株式會社
○週	報	自第二〇三號	漢口日本商業會議所
○週	報	自第二一九號	至第二九七號

○週	報	第一八九號	天津商業會議所
○時	報	自第三八八號	平度商業會議所
○時	報	自第二九八號	大阪商工時報社
○時	報	第一〇四號	商業時報社
○時	報	第七七號	農商務省商品陳列館
○時	報	第三號	南滿洲鐵道株式會社
○會	報	第五八號	遼陽實業會
○所	報	第一七一號	函館商業會議所
○所	報	第二七號	東京商業會議所
○會	報	自第七七號	岐阜商業會議所
○上	報	第二〇號	日本ホルトランド同業會
○通	報	第三八八號	春貿易通報社
○所	報	第九六號	拓殖新報社
○公	論	自第九〇號	山東公論社
○大	工	第八卷第七號	大陸商業會議所
○商	報	第一四七號	函館商業會議所
○彙	報	第七〇號	岡山商業會議所
○彙	報	第三卷第七號	大連商業會議所
○商	報	自第一二六號	青島商業報社
○經	報	自第一二六號	濟南經濟報
○大	報	第七二號	與亞技術同志會
○通	報	第四一號	大阪府立商品陳列館
○貿	計	九年五月分	青島守備軍司令部
○工	本	第十七卷七號	工業之日本社
○經	誌	第五四號	熊本商業會議所

品名	建	物	單位	本月 / 價格	前月 / 價格	比較增減
麻 石 鹽 磷	袋	新	大小	一 枚	銀 330	銀 320 ○ 10
		"	"	"	" 300	" 300 × —
		舊	大小	"	" 250	" 250 × —
	炭	撫順塊炭	一 噸	"	17,500	" 17,500 × —
		博山塊炭	"	"	11,000	" 11,000 × —
		淄川塊炭	"	"	10,000	" 10,000 × —
	寸	原	鹽	"	4,500	" 4,500 × —
		雙喜	一 大 箱	"	53,000	" 38,800 ○ 14,200
		三	"	"	53,000	" 39,000 ○ 14,000

品名		建	物	單	位	本月ノ價格		前月ノ價格		比較増減	
胡石	粉材	○	石平均才均石平均才均	十	貫才	金	3,000	金	3,000	×	—
			崗ノ六平			銀	430	銀	430	×	—
			花ノ六平			"	500	"	500	×	—
			通下ノ花			"	640	"	640	×	—
			普三三迄白三三迄			"	750	"	750	×	—
煉瓦	類	○	赤瓦	千	個	"	8,000	"	8,500	△	500
			赤瓦			"	7,500	"	8,000	△	500
			機械根瓦			"	34,500	"	35,000	△	500
			機械根瓦			"	64,500	"	65,000	△	500
			煉瓦			"	7,100	"	7,500	△	500
木	材	○	手押煉瓦 (支那型)	一	立方米	"	7,000	"	7,500	△	500
			鴨綠紅白松			"	25,000	"	25,000	×	—
			同			"	30,000	"	28,000	○	2,000
			同			"	29,000	"	29,000	×	—
			同			"	31,000	"	31,000	×	—
馬薩	齡摩	○	鴨綠江赤松	百	斤	"	44,000	"	44,000	×	—
			同			"	34,000	"	34,000	×	—
			同			"	35,000	"	35,000	×	—
			薯芋			金	4,320	金	5,600	△	1,280
			薯芋			"	9,600	"	8,900	○	700
牛人大葱林	芡蔘根	○	檣	百	目	"	12,800	"	16,000	△	3,200
			檣			"	6,400	"	8,000	△	1,600
			檣			"	2,400	"	4,480	△	2,080
			檣			"	4,000	"	5,200	△	1,200
			檣			"	280	"	400	△	120
梨蜜蓮 (雜貨)	柑根	○	柑根	一	俵	"	—	"	280	—	—
			柑根			"	900	"	400	○	500
			柑根			"	90	"	90	×	—
			雙虎十六手			銀兩	152,000	銀兩	150,900	○	2,000
			紅國龍			"	148,000	"	147,000	○	1,000
綿	絲	○	丹鳳	一	月	"	154,000	"	152,000	○	2,000
			銀			"	167,000	"	163,000	○	1,000
			紅			"	165,000	"	165,000	×	—
			水			"	177,000	"	177,000	×	—
			月二十手			"	177,000	"	177,000	×	—

名 品	建 物	單 位	本月ノ價格	前月ノ價格	比 較 增 減	
割 木 (支 那 品)	對 內 地 物 產 物 木	十 貫 一 把	金 1,900	金 1,900	×	—
		" "	" 2,200	" 2,200	×	—
上 海 米	一 二 等 等 品	百 五 十 斤 入	銀 18,000	銀 13,800	○	4,200
		" "	" 17,000	" 10,500	○	6,500
高 粱	三 滿 洲 一 等 品	百 斤	" 16,000	" 9,000	○	7,000
			" 4,200	" 3,600	○	600
大 麥	滿 洲 一 二 三 等 品	" "	" 4,000	" 3,550	○	550
			" 3,000	" 3,450	○	550
小 大 落 花 生	無 兵 船 一 等 品	" "	" 3,000	" 2,700	○	300
			" 4,500	" 4,500	×	—
麥 粉	同 三 等 品	" "	" 4,500	" 4,700	△	200
			" 7,000	" 7,700	△	700
棉 花	同 二 等 品	一 袋	" 2,700	" 2,700	×	—
			" 2,600	" 2,600	×	—
落 豆 油	同 三 等 品	" "	" 2,000	" 1,900	○	100
			" 3,000	" 3,000	×	—
豆 油	一 二 三 等 品	" "	" 2,700	" 2,700	×	—
			" 2,600	" 2,500	○	100
羊 肉	上 中 下	百 斤	銀兩 28,000	銀兩 27,500	○	500
			銀 16,500	銀 17,500	△	1,000
牛 肉	上 中 下	" "	" 13,500	" 14,000	△	500
			" 3,400	" 3,200	○	200
豚 鷄 鷄	上 中 下	一 百 磅 目	金 300	金 300	×	—
			" 440	" 440	×	—
牛 皮	上 中 下	" "	" 340	" 340	×	—
			" 240	" 240	×	—
牛 骨	上 中 下	" "	" 400	" 500	△	100
			" 1,100	" 1,100	×	—
牛 石	上 中 下	千 個	" 15,000	" 20,000	△	5,000
			百 斤	銀兩 22,000	銀兩 21,000	○
牛 灰	大 中 小	" "	" 20,500	" 20,500	×	—
			" 21,500	" 28,000	△	6,800
牛 油	大 中 小	" "	銀 2,500	銀 2,500	×	—
			" 17,000	" 17,000	×	—
牛 石	大 中 小	" "	" 750	" 750	×	—

名 稱	建 物	單 位	本 月 / 價 格	前 月 / 價 格	比 較 增 減
木	同 正 六 分 板	一 坪	金 4,500	金 5,800	○ 300
	同 正 一 寸 板	"	" 7,800	" 7,800	×
	同 一 寸 五 分 角	一 本	" 600	" 600	×
	同 二 寸 角	"	" 900	" 1,050	△ 150
	同 二 寸 / 三 寸	"	" 1,200	" 1,200	×
	同 三 寸 角	"	" 2,000	" 2,000	×
	同 四 寸 角	"	" 3,800	" 3,800	×
	中 橫 三 寸 四 分 / 五 分	一 枚	" 480	" 480	×
	大 橫 三 寸 七 分 / 七 分	"	" 650	" 650	×
	木 摺	一 坪	" 20,00	" 2,300	△ 300
	鹽 地 柚 角	一 才	" 220	" 200	×
	栓 柚 角	"	" 220	" 220	×
	檣 柚 角	"	" 220	" 220	×
	清 津 紅 松 柚 角	"	" 250	" 250	×
	北 海 松 角	"	" 180	" 180	△ 20
綿	(雜 貨)				
	菊 花 四 十 二 手 熟 絲	一 俵	銀 兩 290,000	銀 兩 280,000	○ 10,000
	美 人 三 十 二 手	"	" 270,000	" 270,000	×
	扇 面 十 六 手	"	" 167,000	" 163,000	○ 1,000
	福 助 龍	"	" 180,000	" 178,000	○ 2,000
	九 龍	一 疋	" 6,170	" 6,100	○ 70
	布 龍 C	"	" 6,600	" 6,000	○ 600
	太 鼓 天 竺	"	" 3,400	" 3,100	○ 300
	菊 天 竺	"	" 3,000	" 2,900	○ 100
	青 金 勝	一 箱	銀 5,100	銀 5,100	×
石	赤 金 勝	"	" 5,000	" 5,000	×
	油 美 孚 虎 帽	"	" 5,500	" 5,500	×
	亞 細 亞 僧 帽	"	" 5,400	" 5,400	×
	亞 幸 福 印	"	" 5,300	" 5,400	△ 100
	星 金 印	"	" 5,400	" 5,400	×
	人 吉 小 丸	六 貫 俵	金 4,000	金 4,200	△ 200
	同 角 上	"	" 3,850	" 3,900	△ 50
	同 一 角	"	" 3,600	" 3,700	△ 100
	同 丸 淺	"	" 3,200	" 3,300	△ 100
	炭 淺	"	" 2,800	" 2,900	△ 100

品名		建	物	單	位	本月ノ價格		前月ノ價格		比較増減	
錫	〇	劍	先	百	目	金	1,700	金	1,800	△	100
						"	800	"	900	△	100
						"	1,600	"	1,700	△	100
						"	1,400	"	1,500	△	100
鯉	×	節	下	"	"	"	1,200	"	1,300	△	100
						"	1,400	"	1,500	△	100
						"	850	"	1,000	△	150
						"	580	"	600	△	20
罐	詰	類	赤	貝	"	"	500	"	500	×	—
						"	450	"	450	×	—
						"	550	"	500	○	50
						"	450	"	450	×	—
大小隱	元	豆	豆	一	升	"	600	"	600	×	—
						"	450	"	450	×	—
						"	500	"	500	×	—
						"	450	"	450	×	—
挽	割	麥	角	割	"	"	450	"	450	×	—
						"	400	"	400	×	—
						"	500	"	500	×	—
						"	120	"	120	×	—
櫻	片	ツ	栗	一	袋	"	1,500	"	1,500	×	—
						"	1,500	"	1,500	×	—
						"	1,500	"	1,500	×	—
						"	1,500	"	1,500	×	—
丸	鐵	板	5/8"—3/4"	十	貫	"	8,600	"	12,000	△	3,400
						"	2,400	"	2,400	×	—
						"	6,800	"	6,800	×	—
						"	3,300	"	3,250	△	950
亞	鉛	板	#26—3'×6'	"	"	"	4,000	"	4,250	△	250
						"	3,300	"	3,400	△	100
						"	3,800	"	4,200	△	400
						"	3,800	"	4,200	△	400
洋	釘	1—5平均	百斤入一樽	一	樽	銀	17,000	銀	17,000	×	—
						金	5,400	金	5,400	×	—
						"	10,200	"	10,200	×	—
						"	15,000	"	15,000	×	—
阿部	ペイント	白鉛	同	"	"	"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
セ	メ	ン	小	野	田	"	—	"	—	—	—
						"	—	"	—	—	—
						"	—	"	—	—	—
						"	—	"	—	—	—
白	松	並	四	分	坪	"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
						"	2,400	"	2,400	×	—
二	間	正	四	分	坪	"	3,500	"	3,800	○	300
						"	3,500	"	3,800	○	300
						"	3,500	"	3,800	○	300
						"	3,500	"	3,800	○	300

(中日) 青島物價表 (大正九年六月末日)

(○印ハ増△印ハ減×印ハ保合)

品名	建	物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較増減
白米	米	回印特撰赤	一石	金 60,000	金 63,000	△ 3,000
		〃〃〃青	〃	〃 58,500	〃 61,500	△ 3,000
	米	特撰一	〃	〃 57,500	〃 60,500	△ 3,500
		特撰二	〃	〃 60,000	〃 61,000	△ 1,000
麥酒	酒	キリシ	四打箱	〃 22,560	〃 22,560	×
		アサヒ	〃	〃 22,000	〃 22,000	×
		サクラ	〃	〃 21,500	〃 21,500	×
		青島	〃	〃 23,000	〃 23,000	×
清飲料	酒	サッポロ	〃	〃 22,000	〃 22,000	×
	水	白眞	四斗五升入一樽	〃 79,000	〃 93,000	△ 14,000
		東正	〃	〃 77,000	〃 89,000	△ 12,000
		シトロ	〃	〃 65,000	〃 89,000	△ 24,000
茶	油	三ツ矢サイダー	四打箱	〃 13,000	〃 13,000	×
	糖	リボンシトロ	〃	〃 13,000	〃 13,000	×
	類	正喜撰	一斤	〃 12,000	〃 12,000	×
	乾物類	青川	〃	〃 1,300	〃 1,300	×
醬砂	類	龜甲萬	〃	〃 750	〃 750	×
	類	龜甲寶	〃	〃 600	〃 600	×
	類	龜甲	一斗入一樽	〃 10,500	〃 10,500	×
	類	龜甲	〃	〃 10,300	〃 10,300	×
漬物類	類	白中澤梅	一斤	〃 350	〃 380	△ 30
	類	白庵干	〃	〃 340	〃 350	×
	類	百庵干	百目	〃 150	〃 150	×
	類	〃	〃	〃 220	〃 220	×
乾物類	類	奈樂干	〃	〃 500	〃 500	×
	類	瓦京	〃	〃 180	〃 180	×
	類	漬漬瓢	〃	〃 420	〃 460	△ 40
	類	茸布	〃	〃 2,700	〃 3,000	△ 300
乾物類	類	昆布	〃	〃 500	〃 500	×
	類	凍凍	〃	〃 250	〃 280	△ 30
	類	豆莢	〃	〃 150	〃 150	△
	類	腐蕪	〃	〃 150	〃 150	△

(日未月六年五五) 青島屠獸場屠殺數 (七月中)

日	次	牛	豚	羊	山	羊	計
一	日	107	—	28	2	—	137
二	日	211	—	34	2	—	247
三	日	14	1	53	3	—	71
五	日	11	1	28	1	—	41
六	日	8	1	29	3	—	41
七	日	115	1	32	2	—	150
八	日	11	1	28	2	—	42
九	日	16	—	31	2	—	49
十	日	137	—	49	3	—	189
十	二 日	247	—	31	2	—	280
十	三 日	12	—	30	2	—	44
十	四 日	17	—	30	2	—	49
十	五 日	248	—	45	3	—	296
十	六 日	15	—	30	1	—	46
十	七 日	30	—	54	3	—	87
十	九 日	51	—	34	3	—	88
十	十一 日	18	—	39	1	—	58
廿	一 日	233	—	30	4	—	267
廿	二 日	9	1	31	4	—	45
廿	三 日	11	1	37	2	—	51
廿	四 日	12	2	58	6	—	78
廿	六 日	9	1	34	—	—	44
廿	七 日	12	—	33	2	—	47
廿	八 日	110	—	32	2	—	144
廿	九 日	17	—	55	5	—	77
三	十一 日	22	—	56	4	—	82
合	計	1,703	10	971	66	—	2,750
昨	年 七 月 中	2,236	11	655	89	—	2,991

青島出港船舶旅客

(大正九年六月中)

(●印ハ帆船出
入旅客ヲ示ス)

國	籍	男女別	大連	大神戶	門司	朝鮮	上海	芝罘	天津	牛莊	臺灣	香港	マニラ	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日本	人	男	283	163	595	10	21	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1,075
		女	54	67	245	2	10	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	379
支那	人	"	3,202	20	22	—	104	64	—	43	—	24	—	246	142	293	264	133	169	4,726
		"	297	—	—	—	14	—	—	—	—	2	—	—	—	102	96	44	87	642
英國	人	"	1	1	—	—	9	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	12
		"	—	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
露國	人	"	13	—	2	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19
		"	5	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
米國	人	"	4	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
		"	3	—	—	—	4	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	8
獨逸	人	"	1	1	2	—	5	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	10
		"	—	—	1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
佛國	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奧太利	人	"	2	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
波蘭	人	"	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
波斯	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諾威	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
葡萄牙	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	計	"	3,537	186	621	10	153	64	1	43	—	25	—	246	145	293	264	133	169	5,863
		"	359	69	246	2	39	—	—	—	1	2	1	—	—	102	96	44	87	1,948
		計	3,866	255	867	12	192	64	1	43	1	27	1	246	145	395	360	177	256	6,908

青島大港兩驛乘降客人員 (大正九年六月中)

驛別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青島驛	197	242	593	875	19,005	28,878	19,795	29,995
大港驛	36	—	483	55	10,149	185	10,468	240
合 計	233	242	1,076	930	29,154	29,063	31,463	31,235
昨 年 五 月 中	140	134	716	677	21,997	25,819	22,853	26,620

青島入港船舶旅客 (大正九年六月中) (●印ハ帆船出
入旅客ヲ示ス)

國籍	男女別	大連	大神戶	門其ノ司他	朝鮮	上海	芝罘	安東縣	福州	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男	401	252	498	14	65	—	—	1	—	2	—	—	—	—	1,233
	女	102	194	306	8	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	628
支 那 人	"	2,843	55	11	37	362	395	447	—	420	93	421	460	183	178	5,905
	"	338	—	—	6	54	40	67	—	42	1	201	114	99	53	1,015
英 國 人	"	—	—	—	—	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	10
	"	—	—	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17
露 國 人	"	25	—	—	—	15	2	—	—	—	—	—	—	—	—	42
	"	31	1	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40
米 國 人	"	—	3	2	—	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	21
	"	—	—	—	—	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
佛 國 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獨 逸 人	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
瑞 典 人	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
波 蘭 人	"	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	"	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
諾 威 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁 抹 人	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	"	3,270	310	511	51	476	399	447	1	421	95	421	460	183	178	7,222
	"	473	195	306	14	121	43	67	—	42	1	201	114	99	53	1,726
	計	3,743	505	817	65	597	439	514	1	462	96	622	574	282	231	8,948

仕出地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
釜其臺大上芝天其香麻浦其	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
灣連	19	17,979	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	652	20	18,631	—	—
海	13	12,909	12	24,379	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	37,288	—	—
采	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,511	1	329	2	1,840	—	—	—
津	2	1,793	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,793	—	—
諸	9	171	1	5,116	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	5,287	—	—
港	—	—	2	2,373	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2,373	—	—
刺	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—
鹽	—	—	—	—	—	1	2,702	—	—	—	—	—	—	—	1	2,702	—	—
國	1	277	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	277	—	—
外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	77	61,079	16	37,648	2	5,212	1	1,511	2	981	98	106,431	—	—	—	—	—	—

入港汽船揚荷噸數仕出地別 (大正九年五月中)

汽船國籍別	日本	朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦鹽	マニラ	其ノ他外國	計
日本船	16,616.5	538.7	—	1,577.0	4,186.7	13.0	20.6	377.8	—	—	—	0.3	23,330.6
英國船	—	—	—	—	5,435.4	2.1	1,071.3	21.3	1,675.8	—	—	3,792.8	11,998.7
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	107.5	95	117.0
露國船	—	—	—	—	—	43.6	—	—	—	—	—	—	43.6
支那船	—	—	—	197.2	304.3	—	—	1,421.4	—	—	—	—	1,922.9
合計	16,616.5	538.7	—	1,774.2	9,926.4	58.7	1,091.9	1,820.5	1,675.8	—	107.5	3,832.6	37,412.8

出港汽船積荷噸數仕向地別 (大正九年五月中)

汽船國籍別	日本	朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦鹽	マニラ	其ノ他外國	計
日本船	59,571.7	565.0	—	2,143.8	8,286.8	7.3	313.7	—	—	—	—	500.0	71,388.3
英國船	—	—	—	—	525.9	—	—	5,399.2	197.4	—	—	—	6,122.5
米國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	182.8	205.2	—	388.0
露國船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支那船	—	—	—	—	—	380.7	—	2.0	—	—	—	—	382.7
合計	59,571.7	565.0	—	2,143.8	8,812.7	388.0	313.7	5,401.2	197.4	182.8	235.2	500.0	78,281.5

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
其他	發著	54.3 166.9	44.1 28.4	95.9 116.1	— 0.6	219.9 336.0	4.3 0.1	418.5 648.1
豚	"	—	—	—	—	—	—	—
羊	"	—	—	—	—	—	—	—
驃及驢馬	"	—	—	—	—	—	—	—
馬	"	2	—	—	—	—	—	2
牛	"	19 2,375	—	—	—	—	—	19 2,375
合計	"	5,768.5 4,352.2	531.0 192.9	1,986.8 4,322.0	— 12.6	1,834.4 5,822.1	8.2 0.6	9,228.9 14,655.4

入港汽船仕出地及國籍別 (大正九年五月中)

仕出地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	34	31,011	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	31,011	—
仁釜	5	2,484	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2,484	—
其 他 朝鮮	1	281	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	281	—
望 海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大連	15	13,178	1	1,117	—	—	—	—	—	—	—	1	329	17	14,124	—	—	—
上 海	12	12,625	8	10,700	—	—	—	—	1	1,511	1	652	22	25,488	—	—	—	—
芝罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天津	—	—	3	6,621	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6,621	—	—
其 他 支那諸港	13	3,795	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	14	6,305	—	—
香港	—	—	3	14,516	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	14,516	—	—
麻 尼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦 刺	—	—	—	—	—	—	1	2,702	—	—	—	—	—	—	1	2,702	—	—
其 他 外國	—	—	2	5,910	1	3,551	—	—	—	—	—	—	—	—	3	9,461	—	—
合計	81	63,374	17	38,864	3	8,763	1	1,511	2	981	103	113,493	—	—	—	—	—	—

出港汽船仕向地及國籍別 (大正九年五月中)

仕向地	日本船			英國船			米國船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	30	26,672	1	5,780	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31	32,452	—
仁 川	3	1,278	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,278	—

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
藥品及藥材	發著	22.4	7.9	6.2	—	5.2	0.3	42.0
	曹達	7.7	0.9	—	—	—	—	8.5
	石鹼	21.0	0.3	—	—	41.1	—	62.4
	草	—	1.6	—	—	—	—	1.6
	煙草	0.4	1.5	—	—	—	—	1.9
	草	—	0.5	—	—	—	—	0.5
	草	40.5	20.0	—	—	55.0	—	115.5
	草	—	5.0	—	—	—	—	5.0
	草	—	—	—	—	—	—	—
	草	8.3	0.1	22.7	4.0	69.3	0.2	104.6
葉茶豚羊獸牛豚魚	草	10.6	1.3	—	—	—	—	11.9
	茶	3.4	0.6	—	—	—	—	4.0
	毛	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	毛	40.9	1.1	—	—	—	—	42.0
	毛	7.9	—	—	—	—	—	7.9
	骨	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	皮	76.3	—	7.9	—	4.4	—	88.6
	皮	9.0	0.4	0.6	—	—	—	0.4
	皮	—	0.4	—	—	—	—	10.0
	類	10.0	0.7	—	—	—	—	10.7
昆布其ノ他海草	類	1,070.2	22.7	5.3	—	—	—	1,098.2
	類	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	昆布	—	—	—	—	—	—	—
	其ノ他	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
	海草	—	—	—	—	—	—	—
雜貨	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
燐火銅青銅家麻	貨	323.0	3.6	22.7	—	—	—	349.3
	貨	1.4	4.4	—	0.1	—	—	5.9
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
袋及布袋	貨	35.1	1.3	70.0	—	—	—	103.4
	貨	—	1.9	—	—	—	—	1.9
	貨	—	—	—	—	113.5	—	113.5
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
錢具	貨	1.7	—	—	—	—	—	1.7
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
錢具	貨	24.6	13.9	8.6	0.9	—	—	48.0
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
錢具	貨	—	2.4	—	—	—	—	2.4
	貨	—	2.8	—	—	18.7	—	21.5
	貨	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
錢具	貨	1.5	—	—	—	—	—	1.5
	貨	—	0.8	10.1	0.3	—	0.3	11.5
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
錢具	貨	98.1	21.8	—	—	20.1	—	140.0
	貨	1.7	27.8	0.1	0.4	—	—	30.0
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—
	貨	—	—	—	—	—	—	—

品名	目次	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
			一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
瓜及西瓜	發著		9.1	0.6	9.0	—	—	—	18.7
瓜子	"		3.6	0.8	—	—	—	—	4.4
果實(表中記載ノモノヲ除ク)	"		—	0.4	—	—	—	—	0.4
石油	"		—	—	209.3	—	234.4	—	443.7
落花生油	"		24.7	—	1,765.7	—	—	—	1,790.4
豆油	"		181.2	0.4	241.2	—	—	—	422.8
牛油	"		2.1	—	—	—	—	—	2.1
油類(表中記載ノモノヲ除ク)	"		2.1	6.0	—	—	3.8	—	11.9
	"		8.0	1.7	6.8	—	—	—	16.5
油粕	"		1,016.2	—	—	—	236.9	—	1,253.1
	"		67.4	—	—	—	—	—	67.4
肥料各種	"		—	0.8	51.6	—	—	—	52.4
麥稈真田	"		—	0.1	—	—	—	—	0.1
安平	"		25.1	0.8	—	—	—	—	25.9
	"		0.5	—	0.2	—	—	—	0.7
	"		174.4	0.1	17.4	—	—	—	191.9
蠶及粟稈	"		30.5	—	5.0	—	—	—	35.5
鹽	"		—	—	—	—	—	—	—
砂糖	"		233.6	1.8	44.4	—	—	—	279.8
日本酒	"		0.6	6.4	—	—	—	—	7.0
	"		—	0.6	—	0.2	—	—	0.8
ビール	"		22.2	10.1	21.6	—	—	—	53.9
	"		—	0.2	—	—	—	—	0.2
支那酒	"		—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"		—	4.2	—	—	—	—	4.2
食料品(表中記載ノモノヲ除ク)	"		77.5	15.7	51.7	—	—	2.0	146.9
	"		14.6	3.8	0.2	—	1.8	—	20.4
乾物	"		—	3.2	—	—	—	—	3.2
	"		2.3	—	8.7	—	—	—	11.0
野菜	"		15.6	4.1	0.1	—	—	—	19.8
	"		—	2.7	—	—	—	—	2.7
鷄卵	"		4.2	—	—	—	—	—	4.2
	"		13.6	62.7	258.4	0.5	1.0	—	336.2
藍	"		—	—	—	—	—	—	—
染料	"		28.0	5.0	—	—	—	—	33.0
	"		43.1	0.9	5.0	0.6	—	—	49.6

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
大 豆	{ 發 著	—	—	2.7	—	26.9	—	29.6
		107.6	—	—	—	—	—	107.6
豆 類 (大豆ヲ除ク)	{ "	110.5	0.4	4.0	—	—	—	114.9
		13.7	0.9	—	—	—	—	14.6
高 粱	{ "	569.2	—	41.8	—	58.8	—	669.8
		41.4	0.3	—	—	—	—	41.7
小 麥	{ "	50.2	—	—	—	—	—	50.2
		—	—	—	—	—	—	—
米	{ "	10.1	13.7	—	—	—	—	23.8
		172.2	1.0	19.6	—	—	—	192.8
穀 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	{ "	296.1	1.5	28.1	—	—	—	325.7
		54.5	0.5	—	—	—	—	55.0
落 花 生	{ "	73.7	—	102.3	—	—	—	176.0
		106.1	—	46.2	—	388.7	—	541.0
麥 粉	{ "	1.4	1.0	—	—	—	—	2.4
		68.1	0.1	30.0	0.1	—	—	98.3
陶 磁 器 及 土 器	{ "	—	1.4	—	—	8.0	—	9.4
		60.9	0.3	95.0	0.4	—	—	156.6
支 那 紙	{ "	144.6	2.6	—	—	15.0	—	162.2
		—	2.5	1.3	—	—	—	3.8
紙 (支那紙ヲ除ク)	{ "	—	0.7	2.6	—	8.7	—	12.0
		—	—	—	—	—	—	—
麻	{ "	0.2	—	—	—	—	—	0.2
		2.5	—	—	—	4.6	—	7.1
綿	{ "	—	0.1	30.0	—	223.0	—	253.1
		5.7	—	139.1	—	91.4	—	235.2
綿 布	{ "	121.0	44.9	25.8	—	—	0.8	192.5
		0.1	4.6	—	—	6.2	—	10.9
綿 絲	{ "	630.8	237.5	—	—	—	—	868.3
		—	0.1	231.7	—	—	—	231.8
綿 製 品	{ "	—	0.5	—	—	—	—	0.5
		—	2.1	—	0.2	—	—	2.3
絹 絲 (屑ヲ含ム)	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		2.7	0.6	—	—	—	—	3.3
絹 布 類	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		3.7	1.9	5.7	—	—	—	11.3
繭 (屑繭ヲ含ム)	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		11.4	—	78.9	0.5	—	—	90.8
棗	{ "	—	0.1	—	—	—	—	0.1
		1.8	—	—	—	—	—	1.8
梨	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.1	—	—	—	—	0.1
胡 桃	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.3	—	—	—	—	0.3
蜜 柑	{ "	—	0.2	—	—	—	—	0.2
		—	0.1	—	—	—	—	0.1

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
石 鹼 條 形	担	193	—	—	—	193
麥 稈 真 田	"	—	—	—	—	—
砂 糖 (赤)	"	—	—	—	—	—
同 (白)	"	—	—	—	—	—
茶	"	1,194	—	—	—	1,194
煙 草 刻 ミ	"	11	—	—	—	11
木 製 品	"	145	—	—	—	145

青島三驛發著貨物主要品 (大正九年六月中)

(單位噸以下一位獸類ハ頭數ヲ示ス)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭	發 著	150.0	—	135.0	—	195.0	—	480.0
	"	1,380.0	1.8	241.1	—	4,080.0	—	5,702.9
コ ー ク ス	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	210.0	0.7	15.0	—	315.0	—	540.7
石 灰	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	574.0	—	168.0	—	387.0	—	1,129.0
煉 瓦 (瓦ヲ含ム)	"	7.0	0.2	—	—	—	—	7.2
	"	1.0	—	27.0	—	—	—	28.0
セ メ ン ト	"	9.3	1.6	2.6	—	—	—	13.5
	"	15.0	—	360.0	—	131.7	—	506.7
硝 子 板	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
硝 子 製 品	"	3.0	1.6	—	—	—	—	4.6
	"	17.8	1.3	—	0.1	—	—	19.2
桐	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	447.6	0.1	358.6	0.6	—	—	806.9
木 材 (板ヲ含ム)	"	248.8	10.3	121.9	—	227.9	—	608.9
	"	8.0	0.4	5.1	0.6	—	—	14.1
竹 及 割 竹	"	—	0.2	—	—	12.0	—	12.2
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
石 臼	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品	"	90.0	—	—	—	—	—	90.0
	"	—	0.4	—	0.1	—	—	0.5
鐵 板 鐵 製 品	"	47.7	29.5	11.0	—	110.5	0.8	199.5
	"	1.0	2.0	0.8	2.4	5.0	—	11.2
鐵 鍋	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	40.6	—	0.4	—	—	—	41.0
古 鐵	"	125.6	0.2	—	—	—	—	125.8
	"	—	0.1	15.0	—	—	—	15.1

輸入支那品仕出地別 (大正九年六月中)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	6,302	—	—	—	6,302
雲 齋 布(同)	"	38	—	—	—	38
土 布	担	5	—	—	2	7
花 色 土 布	"	83	—	—	—	83
綿 織 絲	"	7,331	—	145	—	7,476
(雜 貨)						
砒 石	"	202	—	—	110	312
竹 筴	箇 担	2,000	—	—	—	2,000
竹 筴	担	—	—	—	50	50
筍 書	"	13	—	—	—	13
書 籍	"	12	—	—	—	12
蠟 燭	"	—	—	1	—	1
磁 石	"	1,152	—	280	—	1,432
紙 卷 煙 草	"	8	—	—	10	18
石 炭(撫順開平)	噸	594	—	52	—	646
紙 扇	箇 担	—	—	—	—	—
小 麥 粉 機 械 製	担	20,689	—	—	—	20,689
夏 布 粗 製	"	826	—	514	—	1,340
同 精 製	"	10	—	—	—	10
藥	"	6	—	—	—	6
桐 油	"	38	—	—	2	40
紙 一 等 油 品	"	252	—	—	—	252
同 二 等 油 品	"	139	—	—	18	157
同 錫 箔 他	"	3,341	—	—	50	3,391
同 其 ノ	"	826	—	—	345	1,171
糖 菓	"	141	—	1	—	142
三 蒸 酒	"	69	—	—	24	93
靴 綿 及 絹 製 白 黃 品	双 担	124	—	—	8	132
生 同 精	斤	880	—	35	—	915
同	"	—	—	—	—	—
同	"	—	—	—	—	—
同	"	228	—	—	—	228

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
頭麥藥豆落	担個担"	32 1,340 — —	— — — 78,762	— — — —	— — 7 —	— — — 20,160	1 480 12 7,840	12 — — 2,268	— — — —	45 1,820 19 109,030
梨鹽鹽杏瓜	"個担"	— — 526,674 — 5	— — 65,520 — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — 45	— — — — —	— — 592,194 — 50
胡生絲同同	座再機座操機械操"	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— — — — —	— 5 — — 43	— — — — —	— 5 — — 43
同同屑屑生	黃黃再製操機械絲繭品"	— 73 44 — 1	— — — — —	— — — — —	— — — — 3	— — — — —	— — — 11 —	— — — — —	— — — — —	— 73 55 — 4
山犬生麥	東絹牛皮皮色ノ	35 — 779 —	— — — —	— — — —	51 — — —	— — 29 —	9 — — —	— — — —	— — 33 —	95 — 841 —
同同牛蔬豆	班白色素油菜麵桃毛米	— 49 1,113 — — 19 —	— — 540 — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— — — — — — —	— 94 31 — — — — —	— — — — — — —	— 143 1,684 — — — 19 —

品 目			單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
日 本	酒	担	123	—	—	—	—	—	—	—	—	123
石 鹼	條	"	36	—	—	—	—	—	100	13	—	149
同 化 粧	用	海關兩	1,713	—	—	—	—	—	808	—	—	2,521
曹 達	担		273	—	—	—	—	—	2,049	—	—	2,322
曹 油	"		243	—	—	—	—	—	—	—	—	243
砂 糖 (赤)	"		—	—	—	2,027	—	—	—	—	152	2,179
同 (白)	"		—	—	—	70	—	—	—	—	—	70
同 精 製	"		164	—	—	5,466	—	8	—	—	—	5,638
同 氷	"		250	—	—	500	—	—	—	—	—	750
木 材 (堅)	立方呎		4,307	—	—	—	—	—	—	—	—	4,307
同 (軟)	"		1,289,822	—	4,281,392	—	—	—	—	—	—	5,571,214

輸出支那品仕向地別 (大正九年六月中)

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	計 合
生豆	頭	1,331	51	—	—	—	93	—	—	1,475
黃牛	担	6	—	—	—	—	—	—	—	6
獸	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
骨	クオーター担	1,435	885	—	—	2,800	10	8	—	5,138
銅豚	担	1,937	—	—	—	—	—	—	—	1,937
毘山	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
棉	〃	—	—	—	45	—	—	761	—	806
東	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
炭	噸	27,618	—	—	—	—	30	8,031	—	35,679
花	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
錫	〃	—	—	—	407	—	—	155	182	744
黑蛋	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋乾	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
棗	〃	608	—	—	—	—	—	—	—	608
白黃蛋	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鷄	卵	4,849,200	—	—	—	—	600	—	—	4,849,800
麻	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽	〃	44	—	—	331	—	—	—	127	502
果	〃	15	—	—	—	—	—	694	—	709
硝	〃	—	—	—	34	—	—	104	158	296
落	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	〃	165	—	—	1,598	750	6	868	35,083	38,570

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥 担	144	—	—	—	—	—	—	—	144
蠟 燭	担	80	—	—	—	—	166	—	—	246
ヒ メ ソ ト	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	担	2,850	—	—	—	—	—	—	—	2,850
磁 石 瓦 器	海關兩	4,280	—	—	—	—	124	—	—	4,404
紙 卷 煙 草	千 本	—	120	2,000	—	—	14,665	—	—	16,785
同 (日本品)	担	1,830	—	—	—	—	—	10	—	1,840
掛 置 時 計	個	1,043	—	—	—	—	219	—	—	1,262
石 炭	噸	1,156	—	—	—	—	—	—	—	1,156
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	—	—	—	—	—	2,680	—	—	2,680
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	237	—	—	237
天 然 藍 液 狀	担	—	—	—	70	—	—	—	—	70
白 鉛 粉	担	4	—	—	55	—	3	—	—	62
越 幾 斯	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電 氣 材 料	海關兩	17,590	—	313	—	—	874	266	—	19,043
祛 那 洗 面 器	打 担	1,505	—	—	—	—	—	—	—	1,505
麥 粉	担	19	—	—	—	—	—	—	—	17
窓 硝 子	箱	1,800	—	—	—	—	5	—	—	1,805
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,363	—	—	—	—	1,042	—	—	2,405
機 寸 (黃 機)	哥	17,500	—	—	—	—	—	—	—	17,500
同 (安 全)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
疊 及 莫 座	枚	18,916	—	—	3,500	—	—	—	—	22,416
コンデンスミルク	打	—	—	—	—	—	20	—	—	20
針	千 本	3,905	—	—	—	—	—	—	—	3,905
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 胡 椒	担	396	—	—	26	—	—	14	—	436
米	担	648	—	—	215	—	—	—	—	215
昆 布	担	495	—	—	123	—	—	3	—	621

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	18	—	—	—	—	—	—	—	18
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	1,251	651	—	—	1,902
同 (日 本)	"	2,423	—	—	—	—	—	—	—	2,423
綿縫絲 (絲 卷)	哥	1,082	—	—	—	—	522	—	—	1,604
(毛綿交織類) ユニオン及ボンチ ヨークローズ (毛製品類)	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲 (雜質織物類)	担	—	—	—	—	—	2	—	—	2
絹製品交織 (金 屬 品)	斤	1,208	—	—	—	—	100	—	—	1,308
片	担	12	—	—	—	—	—	—	—	12
線	"	45	—	—	—	—	—	—	—	45
銅 板	"	10	—	—	—	—	—	—	—	10
鐵及軟鐵 (新)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
條	"	1,930	—	—	85	—	392	—	—	2,407
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	—	—	—	—	—	626	—	—	626
箍	"	1	—	—	—	—	70	—	—	71
橡	"	13	—	—	—	—	—	—	—	13
釘 用 竿 鐵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	"	405	—	—	6	—	184	326	—	921
片 及 板	"	206	—	—	108	—	282	2	—	598
線	"	16	—	—	13	—	—	—	—	29
鐵 及 軟 鐵(古)	"	1,010	—	—	813	—	790	—	—	2,613
鍍 金 鐵 片	"	236	—	—	—	—	209	—	—	445
鉛 塊 鐵	"	—	—	—	—	—	64	—	—	64
鋼	"	4	—	—	—	—	129	—	—	133
葉 鐵	"	—	—	—	—	—	3,613	—	—	3,613
白 銅 片 及 線 (雜 貨)	"	—	—	—	—	—	1	—	—	1
麻 袋	枚	1,107	—	—	1,170	—	76	—	—	2,353
麥 酒 帶	担	1,544	—	—	—	—	89	—	—	1,633
綿	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
バ タ	"	—	—	—	—	3	14	—	—	17

青島輸出入貿易 (大正九年六月中)

—膠海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	4,500	—	—	—	—	937	500	—	5,937
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	480	—	—	480
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	40	—	—	40
同 (日本品)	"	3,080	—	—	—	—	—	200	—	3,280
晒金巾	"	2,610	—	—	—	—	2,119	20	—	4,749
綾金巾	"	—	—	—	—	—	44	—	—	44
雲齋布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	7	—	—	—	—	40	—	—	47
シエーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	163	—	—	163
同 (日本品)	"	40	—	—	—	—	—	4,650	—	4,690
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	500	—	—	500
同 (日本品)	"	17,240	—	—	—	—	—	280	—	17,520
寒冷紗及綿紗	"	—	—	—	—	—	240	—	—	240
平織捺線染色各種	"	780	—	—	—	—	748	—	—	1,528
チンズ及平織更紗	"	300	—	—	—	—	—	—	—	300
フリンテッド フローネチュラー	"	—	—	—	—	—	6	—	—	6
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	270	—	—	270
コットンイタリアン 及ラッスイング	"	1,790	—	—	—	—	623	1	—	2,414
イーズドアラック	"	—	—	—	—	—	400	—	—	400
同平織染色	"	—	—	—	—	—	—	1	—	1
同 綾	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
緋金巾及綿天竺布	"	999	—	—	—	—	90	5	—	1,094
綿スパニジストラ イブ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綿フランネル	"	150	—	—	—	—	—	—	—	150
同 フランケット	"	3	—	18	37	—	—	—	—	58
手 巾	打	—	—	—	—	—	7	—	—	7

◁ 青島實業協會月報第參拾壹號 ▷

◁ 統計表目次 ▷

□ 青島輸出入貿易表 (六月中).....	1
□ 青島三驛發著貨物 (六月中).....	7
□ 入港汽船仕出地及國籍別 (五月中).....	11
□ 出港汽船仕向地及國籍別 (五月中).....	12
□ 入港汽船物荷噸數仕出地別 (五月中).....	12
□ 出港汽船積荷噸數仕向地別 (五月中).....	12
□ 青島大港兩驛乘降人員 (六月中).....	13
□ 青島港出入船舶旅客 (六月中).....	13
□ 青島屠獸場屠殺數 (七月中).....	15
□ 青島物價表 (六月末).....	16

(定不序順)

青島實業協會會員

大正九年七月現在

會 員		代 表 者		所 在	
岩 城 商 會 支 店	伊藤忠商事株式會社青島支店	田邊郁太郎	早舟町	所 在	
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町			
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	葉櫻町			
日本綿花株式會社 青島出張所	鶴原梅次郎	北京町			
東 和 公 司 青 島 支 店	河原熊太郎	北京町			
東亞煙草株式會社 青島販賣所	西村義郎	北京町			
朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	讚井源輔	所澤町			
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	早舟町			
橫濱正金銀行 青島支店	野原大輔	所澤町			
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	葉櫻町			
大日本麥酒株式會社 青島出張所	三宅重孝	臺東鎮長通市外四方庄			
內外綿株式會社 青島出張所	佐々木國藏	北京町			
山 田 出 張 所	山田三平	市場通			
三菱商事株式會社 青島出張所	濱 丈 夫	葉櫻町			
茂木合名會社 青島出張所	永井 貢	早舟町			
神戸棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	葉櫻町			
山東運輸株式會社 青島支店	神谷武松	北京町			
日華協信公司 青島支店	藤波茂時	工場地			
青 島 絲 廠	鈴木格三郎	工場地			
山東化學工業所	磯野清平	工場地			
青 島 鹽 業 株 式 會 社	三好光三郎	濟南町			
東洋殖產株式會社 青島支店	針貝金次郎	佐賀町			
東洋製油株式會社 青島支店	田中 穆	若鶴町			
大 星 公 司 青 島 支 店	遠藤 要	堺 町			
久原商事株式會社 青島出張所	佐久間長吉郎	早霧町			
會 員		代 表 者		所 在	
山東葉煙草株式會社	伊東經真	輕藻町			
江商株式會社 青島支店	一宮 晃	所澤町			
安部幸兵衛商店 青島出張所	副島高市	所澤町			
湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町			
三井物產株式會社 青島支店	飯塚重五郎	所澤町			
南滿洲鐵道株式會社 青島出張所	內 丸 勇	葉櫻町			
峯村鈴木商店 青島出張所	峯村正三	葉櫻町			
合名會社鈴木商店 青島支店	金子慶治	吳淞町			
中 村 組 青 島 支 店	原 辰 治	吳淞町			
和 盛 公 司 青 島 支 店	石本貫一	大和町			
東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	早霧町			
泰 利 商 會 青 島 支 店	松崎 翠	早舟町			
山東興業株式會社	空閑知鸞治	市場通			
吉 澤 洋 行	吉澤干城	三月月町			
青島製粉株式會社支店	百 溪 深	野山町			
新利洋行 青島出張所	古賀茂登吉	若葉町			
福昌公司 青島出張所	田中 昇	葉櫻町			
南昌洋行 青島出張所	中村道三	早霧町			
內外貿易株式會社青島出張所	河上律一	三月月町			
大連製氷株式會社青島支店	倉脇武治	保定町			
龍口銀行 青島支店	原田 昇	若葉町			
東省實業株式會社青島支店	田子金吾	北京町			
中外綿業株式會社 青島出張所	前谷庫太郎	大黑町			
濱口商事株式會社 青島出張所	大村隆行	伏波町			
長瀨洋行 青島出張所	橘 文 助	市場通			
青 島 銀 行	石井久次	所澤町			
日華窯業株式會社	中村康之助	久留米町			
山東起業株式會社	村地卓爾	筑後町			
大日本紡績株式會社	倉田敬三	早舟町			
田中畜事株式會社	空閑知鸞治	早舟町			
大阪商船株式會社	川原井作司馬	早舟町			

大正九年七月十八日印刷

大正九年七月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
(每月一回二十日發行)

發行兼編輯者
印刷所
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地青島新報社
青島靜岡町十四番地足立孝

(實費銀參拾錢)